

令和6年度大和市文化創造拠点等 指定管理者事業報告概要及び評価

令和6年度大和市文化創造拠点等指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

施設名	大和市文化創造拠点等（大和市文化創造拠点、大和市立中央林間図書館、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター、大和市つきみ野学習センター、大和市桜丘学習センター、大和市立渋谷学習センター及び大和市立渋谷図書館）
指定管理者	やまとみらい
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

1 運営組織に関すること

(1) 組織体制

大和市文化創造拠点を中心とする7つの施設を運営するにあたり、各施設の設置目的・理念・コンセプトを十分に理解し、大和市の市政運営の最も重要なテーマである「健康都市やまと」の発展にも貢献できるよう努めました。そのために、共同事業体構成企業それぞれが持つ高度な専門性と今までに培った実績を生かし、7つの施設を「統一した理念に基づき融合したひとつの施設」として、運営しました。

*各施設の運営体制

施設名		共同事業体運営企業
大和市文化創造拠点	やまと芸術文化ホール	サントリーパブリシティサービス株式会社
	大和市立図書館	株式会社図書館流通センター
	大和市生涯学習センター	株式会社小学館集英社プロダクション
	大和市屋内こども広場	株式会社明日香 株式会社ボーネルンド
	維持管理 ※中央林間図書館・渋谷図書館・渋谷学習センター除く全施設	横浜ビルシステム株式会社
大和市立中央林間図書館		株式会社図書館流通センター
大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター		株式会社小学館集英社プロダクション
大和市つきみ野学習センター		株式会社小学館集英社プロダクション
※つきみ野学習センター図書室		株式会社図書館流通センター
大和市桜丘学習センター		株式会社小学館集英社プロダクション
※桜丘学習センター図書室		株式会社図書館流通センター
大和市立渋谷学習センター		株式会社小学館集英社プロダクション
大和市立渋谷図書館		株式会社図書館流通センター

共同事業体全体に関わる連絡調整は統括責任者が中心となり、一体的に管理運営を行います。統括業務を事務局化、7施設の管理運営を効率的に行いました。

「やまとみらい」の管理運営に関する意思決定機関は、統括責任者と各施設館長・所長による「館長会議」とし、主宰は「やまとみらい統括責任者」が務めました。日常からの情報共有の場を設け、緊密に連携することでよりよい施設運営を目指してまいりました。また、共同事業体本社と現場との運営状況共有の場として「やまとみらい JV 会議」を月 1 回開催しました。主催は代表企業である「株式会社図書館流通センター」が務めました。

大和市との連絡調整機関としては、市の各所管課長とやまとみらい統括責任者、各館長・所長が出席する「文化創造拠点等連絡調整会議」を月 1 回開催するとともに、日頃から図書・学び交流課長とやまとみらい統括責任者の間で情報の交換・共有を行うことで、大和市とやまとみらいの意思疎通を図り、管理運営が円滑に行われるよう努めました。

また、運営に関する具体的な検討を行うため、館長会議に 4 つの専門委員会を設置し、適切な管理運営とサービス向上に繋げてまいりました。

* 専門委員会

委員会名	担当構成企業
安全向上委員会	横浜ビルシステム株式会社
セルフモニタリング委員会	株式会社小学館集英社プロダクション
広報・事業企画検討委員会	株式会社図書館流通センター サントリーパブリシティサービス株式会社
情報管理委員会	株式会社明日香

(2) 基本的な考え方

人・地域・文化を育む
文化創造拠点シリウスを中心とする 7 つの施設全体が
「健康都市やまと」の実現を目指します。

大和市が提唱する「健康都市やまと」は、幸せな生活のために誰もが願う「健康」、さらに人だけでなく、人の暮らしを支える「まち」、人と人をつなぐ「社会」を加えた 3 つの視点から捉え推進していくことで、住みたい、住み続けたいまちであり続けることを目指すものであると考えます。

大和市総合計画を推進するために、文化施設が果たすべき役割を自覚し、文化創造拠点等の運営を通して、選ばれるまちづくりに貢献するため、基本方針と 4 つの行動指針を定め、事業を展開しました。

やまとみらい基本方針	「人・地域・文化を育む」
行動指針①	「すべての人の居場所としての施設づくり」
行動指針②	「地域とのつながりの強化」
行動指針③	「『市民が主役』をサポートする」
行動指針④	「安全・安心・安定的な施設運営」

大和市文化創造拠点を中心とする7つの施設の一体的な管理運営がもたらす意義を形にするために、基本方針を共有し、全館横断的な組織体制・サービス提供体制を強化してまいりました。

中でも図書館は、市内全域における読書環境の充実を推し進めるため、中央図書館と各図書館・図書室の一体的運営に努めました。また、子育て支援や地域とのコミュニケーションツールの一環として、令和6年度も《絵本がつなぐ 地域のきずな》をスローガンに、「絵本」をテーマにした事業をやまとみらい全体で展開しました。

さらにデジタルツールの充実や、広報誌の配布方法の拡充を図り、幅広い世代に情報が届くよう、積極的な情報発信に取り組みました。

(3) 職員の育成

① 基本方針

やまとみらいの職員に求められる知識や能力は多岐にわたります。令和3年度に作成した「クレド」を活用し職員の意識を高めるとともに、令和5年度には新たにお客様対応の指針として3つのモットー（きづかう、よりそう、たすけあう）を定め、サービス提供における全職員共通の基盤としました。

研修は「施設別研修」と「共通研修」の2本柱で進めました。施設別研修では、各施設の業務に即した専門知識を学ぶ研修を実施しました。共通研修では令和5年度より、やまとみらい各施設に配属された新人職員向けの「受入研修」、配属されて数年を経た職員に向けた「ステップアップ研修」を実施しております。令和6年度もこれらの研修を継続し、お客様の満足度の向上を目指しました。また、接遇サービス診断やモニタリングアンケートの結果をもとに、新たな課題の抽出と研修内容の検討を行い、さらなる接遇品質の改善を目指してまいりました。

② 育成内容

1) クレドについて

「やまとみらいのあるべき姿」を見える化した「クレド」の浸透策を進化させ、やまとみらい全館で、クレドの理解浸透・啓蒙を図るための施策を実施しました。サービス提供における基盤として大切なマインドの醸成と意識統一を図るとともに、クレドにおける「お客様対応の指針」を実際に体現できるようになるためのステップアップ研修を実施。やまとみらい職員全員が受講し、更なるサービス品質の向上を図りました。

項目	内容	対象
クレド浸透活動	クレドに掲げた、「4つのスタンダード」と「お客様対応の指針」の理解浸透を深めるため、各館独自の浸透策を企画し年間を通じて実行する。また各館の浸透活動状況はやまとみらい社内報“あおぼし”でも紹介し、モチベーション向上につなげる。	全員

<計画どおり実施>クレドの理解浸透を深め、サービス向上につなげるための意識を醸成するため、各館の環境や組織風土に合った浸透策を推進した。職員が講師となりクレド講座を開催したり、期間ごとに重点テーマを決めて取組の成果や気づきを朝礼で発表するなど各館で工夫している。これら各館の取組状況については、年に2回開催する拡大館長会議（学習センター図書室を含めた全11施設の長が出席）にて共有、また、社内報“あおぼし”の紙面「クレポ」にてやまとみらい内全職員に共有した。他館の状況を知ることはよい刺激となり、モチベーションの向上につながった。		
クレド体現研修 （ステップアップ研修）	クレドの理解を深め、「お客様対応指針」の“よりそう”を体現できるようになるための研修を実施する。研修では「想像力を鍛えるワーク」や「お客様の真意を探るワーク」など、実際の場面を想定したトレーニングを多く取り入れ、実践力の強化につなげる。	全員
<計画どおり実施>令和5年度1月から令和6年度11月にかけて、やまとみらい全職員（既存職員）を対象にクレド体現研修を実施した。（詳細は3）共通研修にて報告） 12月以降は受入研修受講済みの新人職員を対象に継続している。		

2）施設別研修

ア）芸術文化ホール

項目	内容
全体研修	ホールを取り巻く環境や現状課題を認識した上で、自社の活動方針とホールの年間活動方針を理解する。また重点活動項目を確認した上で、事業・運営・広報の各グループで具体的な施策と活動計画の立案につなげる。
<計画どおり実施>年度初めには館長からの全体方針が示され、それに基づき各グループが年間活動計画を策定した。活動は毎月各グループの定例研修で改善につなげた。またクレドに関するディスカッション・ワークを継続して実施することにより風土醸成と接遇品質向上につなげた。	
受付研修	ホールの受付職員としてのスキル・接遇品質を高める
<計画どおり実施> 受付職員を対象とした研修を毎月定例で実施。利用施設や備品に関する知識及び取扱い、予約システムや自主事業の券売システムの操作方法、利用者への応対方法など、実践的なケースを題材にディスカッションを通して改善策を検討。受付職員一人ひとりのスキルと接遇品質の向上につなげた。	
他館研究	自社の運営する他ホールの接遇スキルや運営ノウハウの知見を得る
<計画どおり実施> 自社が運営する全国9施設の運営担当者が集まる会議への出席（年2回）や自社他館ホールの視察（山形市/11月）を実施。貸館利用促進や運営ノウハウに関する情報交換を通して職員同士の交流やノウハウ・知見習得ができ、自館の活動に生かすことにつながった。	

イ）図書館

項目	内容
新人研修	図書館で働く心構え、接遇マナー、レファレンスや著作権など、基礎について学ぶ

＜計画どおり実施＞社内では実施している新人研修を計画的に受講した。	
新任責任者研修	責任者としての役割や心構え、また労務管理や収支管理などについて学ぶ
＜計画どおり実施＞令和６年度の新規昇格職員の研修を実施した。	
テーマ別研修	レファレンスや選書、児童サービス、広報など幅広いテーマから選んで受講し、スキルの向上を目指す
＜計画どおり実施＞本社研修（eラーニング）として実施。図書館員としての専門知識の習得をはじめ、傾聴やビジネスマナー、アンガーマネジメントなど幅広いテーマから選択し、受講した。	
P マーク研修	個人情報の取扱いに関する研修を全職員に実施する
＜計画どおり実施＞社内規定に基づき、全職員が受講。理解度確認のテストも行った。	
外部研修	県立図書館や日本図書館協会などが主催する、図書館および関連する業務の研修に積極的に参加することで、職員の技能や専門性を高める
＜計画どおり実施＞神奈川県図書館協会、県立図書館、県央地区図書館連絡協議会主催の諸研修（選抜職員）に参加。そのほか、他自治体の図書館ならびにイベント見学、医療情報関連の研修等にも積極的に参加した。	

ウ) 学習センター

項目	内容
新入社員研修	学習センターで働く上で必要な知識、接遇マナー、個人情報の取扱い等を学ぶ。本社での基本研修、生涯学習センターでの実務研修を経て各館に配属する
＜計画どおり実施＞新規入社した職員に対し、市内学習センターで働く上での研修を生涯学習センターで実施し各施設へ配属。また本社にて新入社員研修を受講した。	
応急手当訓練	AED の取扱い方を含む、組織としての応急手当の対応方法を学ぶ
＜計画どおり実施＞本社研修として応急救護研修（AED、応急手当）実施。	
安全担当者研修	施設毎に選定した安全担当者を集めて、課題の共有と目標の設定をし、組織の安全意識を高める
＜計画どおり実施＞各施設の担当者による情報交換と各施設での安全対策、不審者対応について研修した。	
＜その他＞ ・全国企画担当者会議（企画担当者を対象としたスキルアップ研修）へ参加講座イベント等企画に関する情報共有と企画書の作り方、動画作成について学んだ。 ・神奈川県公民館研修（公民館研修Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ、社会教育施設等研修）へ参加公民館における知識、最新情報の収集を行った。 ・施設間交流研修	

会社が運営する施設の職員同士で、施設見学と意見交換を通して、様々な取組や工夫について学んだ。 ・学習相談研修 学習相談におけるヒアリングのポイント、意義について学んだ。 ・日本語教室研修 地域の日本語教室の役割と意義について学んだ。 ・個人情報保護研修 個人情報の基本と情報漏洩が起きたときの対応について学んだ。 ・タイムマネジメント研修 効率的な組織マネジメントについて学んだ。 ・情報セキュリティ研修（eラーニング） 近年のサイバー攻撃についての知識と対策について学んだ。 ・防災館研修 本社研修として、東京都の防災館にて実施。地震体験など災害時の対応方法を学んだ。 ・消防訓練・避難訓練 消火器、防火扉、消火栓等の使用方法について学んだ。 ・防犯研修 不審者対応の方法と防犯用品の使用方法について学んだ。 ・ホール機器取扱研修を実施 渋谷学習センターにて、多目的ホール音響及び照明機器の取扱いについて学んだ。
--

エ）屋内こども広場

項目	内容
プレイリーダー研修	プレイリーダーとしての心得やプレイリード技術、また接遇品質を高めることを目的とした研修
＜計画どおり実施＞げんきっこ広場内に常駐するプレイリーダーの接遇品質向上を目的とした研修を実施。座学とげんきっこ広場内での実地研修、ボーネルンド直営店での実地研修を併用し、新たな価値観や接遇に対する意識醸成に取り組んだ。	
神奈川県子育て支援員研修	子育て支援に必要な知識や技能等を修得する研修
＜計画どおり実施＞屋内こども広場に在籍する全ての職員を対象に、子育て支援への理解を深め業務に携われるよう、神奈川県主催の子育て支援員研修に参加した。	
保育スキルアップ研修	保育に特化した知識や技能のスキルアップを目的とした研修
＜計画どおり実施＞全職員対象に、保育に特化した知識や技能のスキルアップを目的としたオンライン形式による研修を実施。多数の講義の中から、自身が身につけたい知識や技能を選択できる方式で実施した。また保育士を対象に、「保育の質の向上について」を議題とした内部研修を隔月で実施した。	

オ）施設維持管理

項目	内容
清掃従事者研修	清掃に関する知識・感染対策の知識を高める
＜計画どおり実施＞	地区館も含め新たに入社する職員を中心に実技研修を実施した。

防災センター従事者研修	警察署・消防署による指導で安全安心の意識を高める
<未実施> 警察や消防と相談したが、タイミングが合わず令和 6 年度は未実施となった。	

3) 共通研修

項目		内容	対象
受入研修	事前講習	「やまとみらい」を理解するための動画研修。受講後、確認テストを実施し知識理解を深める。	新人職員
		<計画どおり実施> やまとみらいの各施設で勤務するにあたり必要な、接遇基礎、施設概要、コンプライアンスなどの基礎知識を動画やテキストを使用して習得。受講後には確認テストを実施し知識理解を深めた。	
	対面研修	接遇、クレドワーク、防災などの基礎スキル・知識を学ぶ	新人職員 未受講者
		<計画どおり実施> 接遇、クレドワーク、防災などの基礎スキル・知識を学ぶ対面研修を実施。講師は館長が持ち回りで担当した。 【令和 6 年度実績】 開催回数：計 4 回、受講者数：32 名。	
ステップアップ研修		創造力の向上、傾聴スキル習得など	受入研修受講済みの職員
<計画どおり実施> クレド「お客様対応の指針」における「よりそう」を体現できるようになるための想像力と傾聴スキルの知識習得と実践形式のトレーニング研修を実施。講師は副館長が持ち回りで担当した。 【令和 6 年度実績】 開催回数：計 13 回、受講者数：計 149 名。			
緊急時対応研修		避難訓練（法令の規定回数）、消防設備研修	各施設選抜研修
<計画どおり実施> シリウスでは 9 月に地震、3 月には火災を想定した避難訓練を実施した。また、3 月に消火器訓練を実施した。中央林間図書館では 5 月と 11 月に中央林間東急スクエアの消防訓練に参加。渋谷図書館、渋谷学習センターでは 6 月と 11 月に IKOZA の消防訓練に参加。ポラリス、つきみ野学習センター、桜丘学習センターでも避難訓練（火災）を実施した。			
救急救命講習		心肺蘇生（AED）の習得、応急手当等	全員
<計画どおり実施> 10 月にシリウスでやまとみらい全館の職員を対象に大和消防署から講師を招き心肺蘇生（AED）技術の習得と応急手当を学ぶ救命講習会を実施した。渋谷学習センターでも休館日に AED および救命講習会を実施した。			
<その他> ・不審者対応訓練研修 ポラリス、桜丘学習センター、渋谷学習センターで実施した。 ・図上訓練 シリウスでは 11 月に「平日 15 時に震度 6 強の地震発生」を想定した図上訓練			

を実施した。災害対策本部（指定管理者）の設置、被害状況の確認、負傷者対応、屋外への避難誘導の流れを確認し、確認事項・問題点の洗い出しを行った。また、夜間発生時に備え徒歩で出勤できる職員をリスト化、対象の職員に対し説明会を実施した。令和 7 年度には夜間想定の上訓練を繰り返し実施し、精度を高めていく。

・不当要求行為等対応研修

大和市主催の研修会に参加し、不当要求行為等に対して組織として毅然とした対応を図るための対処方法を学んだ。

（４）個人情報の保護及び情報公開

① 個人情報の保護

１）基本方針

個人情報保護法 第 20 条に基づき日常業務に取り組みました。「個人情報保護法」を遵守するとともに、やまとみらいで平成 29 年度に作成しました「個人情報保護マニュアル」に基づき、適切に管理しました。

２）管理体制

個人情報管理体制は「情報管理委員会」を協議機関とし、総括責任者をやまとみらい統括責任者が、管理責任者を各館長及び所長が担い、四半期ごとに大和市へ状況報告を行いました。

３）理解度テストの実施

６月に「個人情報の取扱いに関する理解度テスト」、１２月に「セクシャルハラスメントの認識に関する理解度テスト」を全スタッフ対象に実施し、個人情報やセクシャルハラスメントに関する理解度の向上と意識の醸成を図りました。

② 情報公開について

「大和市情報公開条例」の趣旨にのっとり、公正で開かれた施設の実現を図り、本施設に対する市民の理解を深めることで、市民と本施設との信頼関係を一層増進することを目指し業務に臨んでまいりました。

情報公開の趣旨を理解した上で、情報の公開と保護を適正に行いつつ、情報公開請求に対応してまいりました。令和 6 年度の情報公開請求件数は 2 件でした。

（５）セルフモニタリング

＜パフォーマンス指標＞ 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

項目		目標値	実績
１．シリウス全館の取組			
（１）年間来館者数		2,850,000 人	2,939,216 人
（２）駐車場	利用者数	64,000 台	59,059 台
（３）駐輪場	利用者数	120,000 台	105,548 台
（４）融合事業	実施回数	7 回	7 回

(5) 全館業務を対象とした研修	実施項目	2 種	2 種
(6) 危機管理対策研修	実施項目	2 種	2 種
(7) スタッフの待遇への満足度		83%	84%

2. やまと芸術文化ホール			
項目	目標値	実績	総括
(1) 年間来場者数	250,000 人	232,133 人	文化芸術事業の来場者数は、完売公演が続き実績につながった。貸館事業においては、高い稼働率を維持しているがサブホールでの午後の 1 区分利用が多く、2 区分以上の利用・催事が減少傾向のため目標未達となった。
(2) 施設稼働率(日数)	87%	94%	前年に続き高い稼働率を維持し、目標を超える結果となった。
(3) 文化芸術事業	実施回数	24 回	25 回
	来場者数	6,500 人	15,030 人
	満足度	90%	98%
学校プログラムが当初予定の 1 校から 2 校に増えたため、全 25 事業の開催となった。 ・芸術鑑賞事業 8 事業 ・創造活動支援事業 6 事業 ・人材育成・普及事業 6 事業 ・連携事業 5 事業 計 25 事業 戦略的な広報計画を立案・実行。市民参加型事業の広報展開を強化するなど、ターゲットに合わせた媒体選定に加え、マスメディアへの積極的なアプローチも実行した。定期的に情報発信することで、ネットニュースやニュースサイトでの記事掲載など、多くの媒体で取り上げられた。また、市民ニーズに合った話題性の高いラインナップが揃ったことにより、チケット完売公演が続いた。以上のことから、目標を大幅に超える来場者数の達成につながった。 計画より 1 本増え、計 25 事業を実施。大和市文化芸術顕彰受賞者の三枝晴太や佐藤和彦、山口真由子、柳家あお馬、北嶋恭子など、大和市ゆかりのアーティストを積極的に起用した。また、様々な鑑賞サポートを導入したバリアフリーコンサートなど、ホール独自の企画を盛り込み、話題性を重視した事業を制作した。多様なジャンルの事業を展開し、全世代に対して鑑賞機会を提供した。いずれも、来場者から非常に高い満足度を獲得することができた。			
(4) 友の会会員数	12,000 人	12,751 人	友の会入会促進のチラシを前期・後期に 2 種作成した。その時期の注目公演や直近の申込可能な公演情報を効果的に伝えつつ、入会することで受けられる特典をわかりやすく表現した。また、各公演チラシなどにも友の会入会募集の告知を広く展開し、当初の目標を上

			回る入会数を達成した。
(5) ステージガイド 発行回数	4 回	4 回	ホール季刊誌として、6 月、9 月、12 月、3 月の計 4 回予定どおり発行した。 アーティストインタビューや事業活動報告などを掲載し、ホールの活動認知につながる紙面づくりを行った。
(6) 研修回数	12 回	12 回	クレドの理解を深めるクレドワークや活動方針、利用者からの問合せ内容や実例に基づき業務知識や接遇品質を向上させる研修を実施した。
(7) 舞台に関する安全講習 実施回数	2 回	5 回	舞台の安全な運用と緊急対応についての安全講習を計 3 回、その他利用者の安全にかかわる合理的配慮研修と救命講習も実施した。
(8) 舞台に関する事故件数	0 件	0 件	—

3. 大和市立図書館				
項目		目標値	実績	総括
(1) 貸出資料数		720,000 冊	684,304 冊	貸出資料数の減少が続いている。図書館利用方法の講座実施、分かりやすい書架表示や展示の工夫で改善に努める。
(2) レファレンス受付件数		150 件	220 件	全スタッフが意識的に対応することで利用が大幅に伸長した。
(3) 蔵書数（全体新規購入数）		15,000 冊	21,862 冊	購入 17,284 冊、予約 2,134 冊、補充 2,395 冊、その他（縮刷版）49 冊。
(4) 郷土資料蔵書数		400 冊	433 冊	
(5) 予約・リクエスト数		300,000 件	301,313 件	令和 5 年度に引き上げた目標を達成した。
(6) 健康コーナーレファレンス受付 件数		150 件	149 件	健康コーナー運用については今後の検討課題の一つである。
(7) 健康イベント	実施回数	350 回	315 回	「ここから マナ☆スタ」分は数字に含まず。
	参加者数	5,500 人	5,398 人	
(8) 家読推進事業	実施回数	25 回	27 回	
	参加者数	800 人	903 人	
(9) おはなし会	実施回数	120 回	136 回	
	参加者数	2,000 人	2,780 人	
(10) 各種講座・イベント	実施回数	18 回	31 回	
	参加者数	600 人	1,079 人	
(11) 展示コーナー	実施回数	115 回	166 回	
(12) 学校対象事業	実施回数	24 回	45 回	
(13) ボランティア育成講座	実施回数	13 回	13 回	
(14) 研修回数		30 回	33 回	外部研修にも積極的に参加し、延べ 285 人が受講した。

4. 大和市立中央林間図書館				
項目		目標値	実績	総括
(1) 貸出資料数		330,000 冊	331,346 冊	目標を上回った。より多くの資料を手にとってもらえるよう、利用促進に向けた工夫を継続したい。
(2) 貸出利用者数		130,000 人	136,716 人	同上
(3) 利用者登録数		2,500 人	2,640 人	同上
(4) リクエスト受付件数		12,000 件	12,051 件	同上
(5) レファレンス受付件数		100 件	99 件	目標を若干下回った。令和7年度は、利用者のさらなる活用を促していきたい。
(6) タブレット貸出数		2,500 件	2,957 件	
(7) 研修回数		15 回	25 回	各スタッフの担当業務やレベルに応じたテーマ別研修を全員が受講するとともに、個人情報管理や危機管理の研修を実施した。
(8) スタッフの接遇への満足度		85%	86%	日頃心掛けている親切・丁寧な接遇が評価され、目標を若干上回った。
5. 大和市立渋谷図書館				
項目		目標値	実績	総括
(1) 貸出資料数		170,000 冊	146,145 冊	
(2) 貸出利用者数		58,000 人	49,960 人	
(3) 利用者登録数		700 人	695 人	
(4) リクエスト受付件数		5,500 件	5,180 件	
(5) レファレンス受付件数		50 件	91 件	親しみやすく気軽に質問できる雰囲気づくり、分かりやすい案内をするように努めた。
(6) 研修回数		12 回	24 回	オンライン研修のほか、他館で開催される講座やイベントに参加することで、知識習得や相互理解の研修機会となった。
(7) イベント回数	おはなし会	27 回	27 回	
	各種イベント	4 回	11 回	幅広い年代向けにイベントを実施し、多くの方にご参加いただけた。
(8) 展示コーナー実施回数		36 回	42 回	毎月のテーマ展示のほか、他の機関と連携した特別展示を行った。
(9) スタッフの接遇への満足度		82%	82%	接遇研修の受講等により目標を達成することができた。
6. 大和市生涯学習センター				
(1) 年間来場者数		300,000 人	414,537 人	ぷらっと大和、市民交流라운ジの利用が増えたため。
(2) 施設稼働率		55%	56%	

(3) 団体利用数		16,800 コマ	16,895 コマ	
(4) 市民交流ラウンジ利用者数		47,000 人	51,413 人	
(5) 職場体験等受入数		2 回	6 回	大学生の社会教育実習を受け入れたため。
(6) 生涯各期事業 現代的課題	実施回数	20 事業/200 日	21 事業/164 日	乳幼児期で、入退場自由の事業を実施したほか、市民の関心の高い事業を実施した。
	参加者数	2,700 人	4,693 人	
	満足度	90%	92%	
(7) 専門的講座（や まとみらい カレッジ）	実施回数	3 事業/15 日	3 事業/15 日	サテライト会場の運用も行い多くの方に来場いただいた。
	参加者数	600 人	841 人	
	満足度	90%	89%	
(8) やまとこども市 民大学	実施回数	2 事業/2 日	2 事業/3 日	
	参加者数	40 人	38 人	
	満足度	90%	89%	
(9) 生涯学習関連事 業	実施回数	2 事業/10 日	4 事業/10 日	
	参加者数	200 人	229 人	
	満足度	90%	98%	
(10) 生涯学習 センターまつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	
	参加者数	2,000 人	2,215 人	
(11) 利用者懇談会 等	実施回数	4 回	4 回	貸出倉庫調整会は調整不要のため開催せず。
	参加者数	80 人	80 人	
(12) 研修	実施回数	6 回	18 回	県公連研修にも参加したことで、多種多様な研修を実施することができた。

7. 北部文化・スポーツ・子育てセンター

(1) 年間来館者数		650,000 人	568,336 人	令和 5 年度はワクチン接種会場のため来館者数の増加があり令和 6 年度の目標値を高く設定した。しかし、令和 6 年度には接種会場としての利用はなく目標未達となった。
(2) 駐輪場	利用者数	66,000 台	59,569 台	
(3) 施設稼働率		65%	54.9%	ROOM6・7 を学習室から一般に開放したため全体の稼働率が下がった。
(4) 団体利用数		9,800 コマ	9,456 コマ	
(5) 個人利用	登録数	1,500 人	1,359 人	
	利用者数	9,600 人	8,979 人	
(6) 市民交流スペース利用者数		180,000 人	197,125 人	小・中学生の利用者を中心に利用者が増加した。
(7) 生涯各期事業 現代的課題	実施回数	14 事業/416 日	15 事業/508 日	定期開催の事業を増やし、開催回数及び参加者数が増加した。
	参加者数	14,000 人	21,560 人	
	満足度	85%	95%	
(8) 地域や利用者と 密接に連携した講座	実施回数	3 事業/28 日	4 事業/19 日	自治会との連携により、集客増につながった。
	参加者数	300 人	521 人	
(9) センター	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	自治会との協力もあり、多く

まつり	参加者数	2,000 人	2,707 人	の方に来館いただいた。
	満足度	80%	88%	
(10) 地域文化振興事業	実施回数	2 事業/4 日	2 事業/3 日	
	参加者数	250 人	295 人	
(11) 利用者懇談会等	実施回数	3 回	2 回	倉庫・ロッカー調整会は調整不要のため開催せず。
	参加者数	30 人	6 人	
(12) 研修	実施回数	6 回	7 回	
(13) スタッフの接遇への満足度		75%	87%	団体利用者を中心にスタッフの声掛けを徹底したところ、満足度が向上した。

8. 大和市つきみ野学習センター

(1) 年間来場者数		300,000 人	283,938 人	
(2) 施設稼働率		50%	46.3%	
(3) 団体利用数		7,490 コマ	6,938 コマ	
(4) 職場体験等受入数		2 回	1 回	
(5) 生涯各期事業 現代的課題	実施回数	17 事業/873 日	19 事業/ 1,139 日	子どもの居場所作りとして高校生まで利用できる自由学習室や通年講座を増やした。
	参加者数	7,000 人	12,823 人	
	満足度	85%	96%	
(6) 地域や利用者との密接に連携した講座	実施回数	4 事業/63 日	4 事業/64 日	
	参加者数	650 人	652 人	
(7) 専門的講座 (やまとみらいカレッジ)	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	
	参加者数	200 人	181 人	
	満足度	90%	87%	
(8) つきみ野学習センター まつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	子ども向けイベントを多く取り入れ、家族での来館者が大幅に増えた。
	参加者数	2,000 人	3,277 人	
	満足度	85%	91%	
(9) 地域文化振興事業	実施回数	2 事業/2 日	2 事業/2 日	
	参加者数	300 人	358 人	
(10) 利用者懇談会等	実施回数	3 回	4 回	
	参加者数	60 人	103 人	
(11) 研修	実施回数	7 回	18 回	
(12) スタッフの接遇への満足度		75%	82%	来館者とのコミュニケーションを積極的に行うようにスタッフ間で意識した。

9. 大和市桜丘学習センター

(1) 年間来場者数		200,000 人	154,754 人	地域からの認知獲得を進めていく。
(2) 施設稼働率		60%	62.5%	
(3) 団体利用数		5,890 コマ	6,699 コマ	
(4) 職場体験等受入数		2 回	1 回	渋谷中学校生徒数減のため依頼なし。
(5) 生涯各期事業 現代的課題	実施回数	12 事業/761 日	13 事業/754 日	
	参加者数	1,000 人	1,582 人	

	満足度	85%	94%	
(6) 専門的講座 (やまとみらい カレッジ)	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	
	参加者数	200 人	140 人	
	満足度	90%	90%	
(7) 地域や利用 者と密接に連携し た講座	実施回数	1 事業/10 日	1 事業/10 日	
	参加者数	200 人	178 人	
(8) 桜丘学習 センター まつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	参加団体減。参加団体の増 加を促していく。
	参加者数	1,500 人	1,105 人	
	満足度	90%	96%	
(9) 地域文化振 興事業	実施回数	1 事業/1 回	1 事業/1 回	
	参加者数	50 人	59 人	
(10) 利用者懇談 会 等	実施回数	3 回	4 回	
	参加者数	60 人	76 人	
(11) 研修	実施回数	7 回	10 回	
(12) スタッフの接遇への満足度		75%	81%	
10. 大和市渋谷学習センター				
(1) 年間来場者数		260,000 人	248,684 人	
(2) 施設稼働率		40%	34.6%	新規団体の設立数が少なく、後押しとなる施策の検討が必要
(3) 団体利用数		8,500 コマ	7,214 コマ	
(4) 職場体験等受入数		2 回	2 回	
(5) 生涯各期事 業 現代的課題	実施回数	13 事業/ 1,111 日	14 事業/ 1,123 日	保育室の空間リノベーションにより、大幅に利用者が 増加した。
	参加者数	3,000 人	10,702 人	
	満足度	87%	94%	
(6) 専門的講座 (やまとみらい カレッジ)	実施回数	1 事業/5 日	1 事業/5 日	
	参加者数	200 人	319 人	
	満足度	90%	93%	
(7) 地域や利用 者と密接に連携し た講座	実施回数	1 事業/6 日	7 事業/76 日	地域課題に対する取組として日本語教室の開催を導入。
	参加者数	50 人	933 人	
(8) 渋谷学習 センター まつり	実施回数	1 事業/2 日	1 事業/2 日	
	参加者数	2,000 人	1,570 人	
	満足度	90%	92%	
(9) 地域文化振 興事業	実施回数	3 事業/3 日	3 事業/3 日	
	参加者数	450 人	534 人	
(10) 利用者懇談 会 等	実施回数	3 回	2 回	倉庫・ロッカー調整会は調整不要のため開催せず。
	参加者数	40 人	40 人	
(11) 研修	実施回数	6 回	6 回	
(12) スタッフの接遇への満足度		80%	83%	

11. 大和市屋内こども広場			
(1) 年間来場者数	162,000 人	179,016 人	過去最高の来場者数だった

				令和5年度より10,005人増。記録を更新した。
(2) 登録者数		19,000 人	23,122 人	情報誌の配架や、他施設への出張イベントを行ったことにより、当施設の認知度が上がり、令和5年度と比べ1,910人の増加となった。
(3) 屋内公園事業 (げんきっこ広場)	利用者数	70,000 人	83,813 人	コロナ禍より開催を中止していた第1クールに行う「あさイチキッズ」を再開したこと、またボールプール内に的を立ててボールを当てる「的当てゲーム」や場内の雰囲気や状況に応じて行う「サプライズイベント」が好評だったことにより、利用者増につながった。
	イベント実施数	600 回	600 回	
	イベント参加者数	8,500 人	12,438 人	
	満足度	90%	91%	
(4) 屋内公園事業 (ちびっこ広場)	イベント実施数	150 回	71 回	下半期のイベント実施が大幅に減ったため目標未達となった。だが、清掃回数を増やしたり声掛けを徹底したりしたことで高い満足度を維持できた。
	イベント参加者数	2,500 人	1,426 人	
	満足度	90%	90%	
(5) 幼児預かり事業	利用者数	2,000 人	2,078 人	1月以降、月の受入れ件数が増加した。1月191件、2月185件、3月214件と推移し、令和5年度と比べ143件増となった。
	イベント実施数	55 回	58 回	「パパとママとあそぼう」と、親子でふれあいあそびや絵本を楽しむ「からだをうごかしてあそぼう」が好評だった。
	イベント参加者数	1,000 人	987 人	
	満足度	90%	95%	
(6) 育児相談事業	相談件数	1,000 人	1,016 人	相談件数：66 件 身体測定：776 人 育児イベント：174 人 合計：1,016 人
	満足度	90%	100%	
(7) 多目的室運営事業	利用団体数	5 組	1 組	登録団体：1 組 大和おやこ劇場：年4回利用 (4月・7月・11月・2月)
	イベント実施数	175 回	148 回	やまとみらい間連携イベントとして、7月にシリウス生涯学習センターと「イヤイヤ期ふえすていばる」、8月に市民交流拠点ポラリスにて屋内こども広場の出張イベントを開催した。
	イベント参加者数	3,000 人	2,075 人	
	満足度	90%	97%	
(8) ボランティア確保数		10 人	9 人	家庭と地域の架け橋を目的とした活動をメインに行っている子育てサロン「森のくまさん」による地域交流イベントを年6回開催。
(9) 研修回数		13 回	18 回	ボーネルンドによるプレイリーダーの研修や、保育士の専門性を強化する研修、スタ

			ップ全員を対象とした接遇研修を実施した。
--	--	--	----------------------

2 利用者サービスに関すること

(1) ホール関連サービス（対象施設：やまと芸術文化ホール）

① 基本方針

令和6年度は指定管理者第二期の4年目として「文化芸術の力で、健康で豊かな心を育て、地域・まちを活気づけます」の基本方針にのっとり運営しました。市民の皆様が文化芸術に触れる・携わることができるように心がけました。

② サービス提供に関する取組

1) 柔軟なサービス提供

ア) 利用者満足度の向上につながるサービスの体現

初めて来館する方や初めて利用する方にもご理解いただけるように、ツール類を見直しながら活用し、分かりやすい対応を心掛けました。また利用者のニーズやご要望を引き出せるように相手に合わせた理解確認の問いかけを適切に行い、話し方や話す速さなどに配慮し、利用者に寄り添った対応を実現しました。

イ) スタッフの教育研修

利用者の満足度向上のため、年間を通して受付・事務所スタッフに向けたスキルアップ研修を行いました。利用者満足度と利便性のさらなる向上を目指し、窓口寄せられる様々な問合せに迅速に対応できるよう情報共有を密にはかり、チームワークの向上に努めました。研修はディスカッション形式も取り入れ、事例をもとに運営上の諸問題の解決につなげました。また、他館の施設見学や意見交換を行い、運営ノウハウを吸収するとともにネットワークを広げました。

2) 利用・鑑賞に対する支援について

ア) 主催公演におけるサービスの向上

月に一度、スタッフ向けに主催公演の内容共有や想定される問合せの対応方法について、事前レクチャーを実施。あわせてスタッフ同士のOJTやアンケート結果の確認分析など、主催公演の振り返りを行いました。その結果、来場者満足度の向上とスタッフのスキルアップにつながりました。また、公演当日には来場者の属性に合わせて、適宜ご案内人数を増やすなど、安心安全な運営体制を実現しました。

③ 事業報告

1) 事業方針及び事業内容

ア) 貸館事業

貸館事業においては、施設稼働率の向上、施設下見会・レクチャー会の実施、配布ツール類の改訂を目指し取り組みました。各施策の実施に当たっては、積極的に他館の情報を収集するなど視野を広げ、多方向から検討し目標達成につなげました。

a) 施設稼働率の向上

施設稼働率の維持向上を目指し、近隣の休館施設へチラシ配布やダイレクトメールの郵送、ダイレクトコールなど、販促営業活動も積極的に行いました。またメインホール・サブホールの午前・夜間区分の稼働率向上を目的とし、本番の利用予定のある利用者をターゲットに練習利用の案内等を行いました。ホームページに区分単位の空き情報を掲載し、直前利用の割引価格を周知アピールするなど、既存利用者だけでなく新規利用者の開拓にも努めました。(稼働率/日数単位:年間平均 94%)

b) 施設下見会・レクチャー会の実施

初めてホールを使う利用者をメインターゲットに、ホール下見会を企画実施しました(7月2日間)。イベント催事の円滑な運営をバックアップするとともに、舞台演出の紹介等により、利用者のイベント催事の魅力を引き出せるよう対応しました。

またギャラリー予約者に対しても、ギャラリー備品の使い方やスポットライトの設営など、下見会及び模擬展示でのレクチャーや体験会を実施(7月2日間)し、参加者からは本番の展示内容や展示手法の充実につながったと好評いただきました。

c) 配布ツール類の改訂

利用者からの意見や質問を受け、令和5年度に改訂した「やまと芸術文化ホール利用の手引き」がさらに分かりやすいものになるよう再改定を行い、利用者の利便性の向上を図りました。再改定版は令和6年12月から配布するとともにホームページにも掲載しました。

イ) 文化芸術事業

仕様書にのっとり「芸術鑑賞事業」「創造活動支援事業」「人材育成事業」「連携事業」の4種の事業を実施しました。事業計画書の提出時には24事業を計画していましたが、学校プログラムを1事業追加し、全25事業を開催しました。(別紙芸文1参照)

a) 芸術鑑賞事業

大和市文化芸術顕彰受賞者の三枝晴太が所属する太鼓芸能集団「鼓童」による公演や、クラシックの第一線で活躍するアーティストによるデュオ・リサイタルや金管アンサンブル、また、昭和を代表するポップス歌手によるライブや、日本を代表するアニメーション会社の音楽をピックアップしたファミリーコンサートなど、様々なジャンルの公演を行いました。また、やまと芸術祭の期間中に開催する公演を「やまと芸術祭特別公演」と位置づけ、来場者へポストカードを配布するなど、市の取組との連携を行いました。事業計画書どおり、全8事業を実施しました。

b) 創造活動支援事業

大和市文化芸術顕彰受賞者の落語家・柳家あお馬を講師に迎え、落語のワークショップを実施しました。約1か月間のワークショップを経て、小学4年生から高校3年生の8名が成果発表で初高座に上がり落語を披露しました。また、市民団体が日ごろのパフォーマンスをメインホールで披露する「市民がつくるコンサートシリ

ーズ」では、令和5年度に引き続き、アマチュア・バンドLIVEとSIRIUS DANCE STAGEを開催しました。プロの舞台スタッフのサポートと照明演出などを加え、華やかなステージでパフォーマンスを披露しました。その他にもギャラリーで開催した「トリック 3D アート」や6回目を迎えた「みんなの音楽会」など事業計画書どおり、全6事業を実施しました。

c) 人材育成・普及事業

「次世代のこどもたちとホールをつなぐ」ことを目的とし、和太鼓の楽器体験、影絵のワークショップ、トランペットとトロンボーンのアダルトクリニックやリハーサル公開など、本公演に出演するアーティストたちを起用した事業を開催しました。また、これまでに引き続き、地元アーティストを起用した学校プログラムも2回行いました。事業計画書より1事業追加し、全6事業を実施しました。

d) 連携事業

「文化芸術をひろげる」ことをねらい、地元メディア「FMやまと」と「J:COM」とのコラボレーション企画をはじめ、「大和市ケアマネージャー連絡協議会」との連携で実施した福祉施設での出張コンサート、「大和市民まつり」への出張コンサートなど、大和市ゆかりのアーティストに協力を仰ぎながら、地域に根差した活動を推進しました。事業計画書どおり、全5事業を実施しました。

○令和6年度 やまと芸術文化ホール 文化芸術事業

芸術鑑賞事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
6/22	メインホール	デビュー25周年 小松亮太 タンゴ・アン サンプル with 国府弘 子	デビュー25周年を迎える小松亮太による、彼が信頼をおく奏者10名で構成されたタンゴ・アンサンプルと、ジャズ・ピアニスト国府弘子さんをゲストに迎えたタンゴ・コンサートを開催しました。世界各地の音楽家が作曲したタンゴの名曲や、タンゴの巨匠アストル・ピアソラの名曲などを披露しました。アルゼンチン・タンゴの希少な編成での公演に対し、企画力を高く評価する声が多く寄せられ、新たなファンの獲得につながりました。	869名
7/15	メインホール	「ジブリの思い出がいっぱい」オーケストラによるドリームコンサート2024	5名のヴォーカルグループとオーケストラの編成で、ジブリの名曲を中心に構成されたコンサートを開催しました。曲目は、ジブリの12作品から全25曲が演奏され、クラシックスタイルのステージながら鮮やかな照明を施し、音楽とともにジブリの世界観を楽しめる雰囲気を作りしました。親子3世代で楽しめる内容として幅広い世代が来場され、文化芸術は年齢関係なく楽しめることを実感する機会となりました。	819名

9/28	メイン ホール	鼓童ワン・アース・ツアー2024	大和市文化芸術懸賞受賞者の三枝晴太が所属する太鼓芸能集団・鼓童による、40周年記念ツアーの最終日として開催しました。凱旋公演として歓迎ムードを作り上げるため、地元媒体での取り上げや、市内先行抽選により地元ならではのプレミア感を生み出しました。和太鼓の生の演奏と迫力に来場者は魅了されていました。大和市出身のアーティストをアピールすることで、地元への愛着と誇りを改めて感じる機会を創出しました。	936 名 (完売)
10/26	メイン ホール	Broadway Musical「IN THE HEIGHTS イン・ザ・ハイツ」	ミュージカル界の第一線で活躍する人気俳優が起用された、本格的なミュージカル公演を開催しました。大和公演は1か月にわたるツアーの大千穰楽であったこともあり、幕が開いた瞬間から終幕まで、常時、一体感を生み、スペシャルカーテンコールの際は最高潮の盛り上がりを見せました。全国から高く注目され、遠方からこの公演を目当てに足を運ばれるファンも多数いたことから、シリアスの認知度向上に貢献しました。あわせて大和市を挙げて開催している「やまと芸術祭」の特別公演の位置づけもアピールできたことで、市の取組を周知することができました。	796 名
11/10	メイン ホール	渡辺美里 BITTER ☆ SWEET ROCK'N'ROLL TOUR Season1	名実ともに日本を代表するアーティストの一人である渡辺美里によるライブを開催しました。当公演は大和市を挙げて開催している「やまと芸術祭」の特別公演として位置付けていました。そのことから大和市文化芸術顕彰受賞者のイラストレーター及川正道が雑誌『ぴあ』(1986年)に渡辺美里を掲載したイラストのポストカードが、大和市より来場者記念として特別配布されました。本人も公演中のMCでポストカードについて触れ、大和市の文化人の認知度向上につながりました。	873 名 (完売)
1/26	メイン ホール	侍 BRASS《羊皮紙の世界図》	ジャズ界、クラシック界の第一線で活躍する金管奏者たちによるブラスアンサンブルのコンサートを開催しました。吹奏楽という観点から若年層の誘致をねらい、地域の吹奏楽連盟を後援につけるなど、関係団体との連携を図った結果、100名を超えるU-25席の申込みを獲得することができました。コンサートでは煌びやかな金管の響きとともに、超絶技巧を駆使した演奏と楽曲のコントラストで来場者を惹き込み、次世代を担う若者たちの鑑賞機会を創出しました。	895 名

2/22	メインホール	宮田 大&福間洸太郎 デュオ・コンサート	クラシック界の第一線で活躍するチェリスト・宮田大とピアニスト・福間洸太郎による本格的なクラシック・プログラムで構成されたコンサートを開催しました。糸をつむぐような繊細でかつ洗練された演奏で、クラシックの醍醐味を存分に堪能できる機会となりました。加えて、ホール空間や音響の素晴らしさを評価する声も多く寄せられ、施設の魅力を体感していただく機会となりました。	922 名 (完売)
3/22	メインホール	石川さゆり プレミアム・アコースティック・コンサート (昼・夜 2 回公演)	ホール主催として、初めてとなる演歌歌手、石川さゆりによる公演を開催しました。ホールの響きの良さを生かすため、アコースティック編成での演奏スタイルを採用しました。前半は歌謡曲を中心に普段は見られないドレス姿、後半は着物に着替え、待望の演歌を披露しました。来場者の割合は市民がとて多く、市民のニーズに応えた企画として「市民とホール」の架け橋となる一助を担いました。	昼 861 名 (完売) 夜 865 名 (完売)

創造活動支援事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
4/27-5/6	ギャラリー	トリック 3D アート魔法の絵画展	トリック 3D アート作家・服部正志の作品をギャラリー内に 19 点展示しました。写真を撮ることで浮き上がって見える作品や、錯覚や錯視などを駆使した作品が並び、老若男女問わずアートの楽しさを体感する機会になりました。また、飛び込みの参加者も多く、アートを身近に感じてもらう機会の創出にもつながりました。	9 日間 3,184 名
6/22	メインホール	小松亮太&国府弘子によるアフタートーク	本公演終了後に出演者 2 名によるアフタートークを開催しました。コンサートのリハーサルの様子や、タンゴを演奏する上での苦労話など、貴重なコンサートの裏話が披露されました。二人のユーモア溢れるやり取りを聞きながら、出演者の人となりを知り、コンサートだけではない楽しみ方を享受する機会を創出しました。	約 300 名
8/4	メインホール	市民がつくるコンサートシリーズ Vol.7 SiRiUS アマチュア・バンド LIVE	大和市で演奏活動を行う市民を対象に出演募集をし、全 20 団体のエントリーから 5 団体が出演しました。世代は学生から高齢者まで幅広く、ジャンルもロック、ジャズ、メタル、フォークなど、様々な演奏が披露されました。出演者同士で演奏について語り合うなどの交流がみられ、活動支援の場の創出とともに新たな仲間の「つながり」を創り出す機会になりました。	参加団体 5 バンド 22 名 入場者 300 名

12/8	メインホール	市民がつくる コンサートシリーズ vol.8 SiRiUS DANCE STAGE	大和市中でダンス活動を行う市民を対象に出演募集をし、全26団体のエントリーから9団体が出演しました。本事業のために結成されたグループや、発達障害の子どもたちのスクール、HipHop、JAZZ、モダンダンス、フラダンス、チアダンス、K-POPなどバラエティーに富んだ内容で、総勢141名がステージでパフォーマンスを披露しました。イベントの最後にはカーテンコールと出演者全員によるパフォーマンスを実施し、各団体の活動支援に加え、文化振興の一助となる機会を創出しました。	参加団体 9チーム 計141名 入場者 664名
2/2	サブホール	落語にチャレンジ！ ワークショップ成果発表会 やまと寄席～特別編～ ティーンのはじめて寄席	大和市出身の落語家、柳家あお馬との協同で小学4年生～高校3年生対象とした落語ワークショップを実施しました。成果発表会で一席披露することを目標に、約1か月の稽古期間のなかで、発声の仕方や高座での所作、言い回しを学びました。回を重ねるごとに成長し、本番では各自、最高の一席を披露しました。自己表現と他者理解、互いに高め合う意識の醸成は、子どもたちの成長に大きくつながる機会となりました。	WS参加者 8名 入場者 115名
3/8	サブホール	みんなの音楽会 vol.6 ～鵜木絵里・中川賢一 with 神谷未穂 【午前】親子で楽しむ “るんるん♪”バリアフ リーコンサート 【午後】大人で楽しむ “日本の名曲”バリアフ リーコンサート	誰もが楽しめるコンサートを目指し、6回目の開催となるバリアフリーコンサートを実施しました。手話通訳や文字支援（UDトーク、歌詞投影）などの鑑賞サポートに加え、音を振動と色で伝える「SOUND HUG」を新たに導入しました。来場者それぞれにあった鑑賞サポートを提供し、コンサートを通じて、合理的配慮を知り、相互理解や社会包摂などの理解を深めることを推進する取組につなげました。	【午前】 158名 【午後】 109名

人材育成・普及事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
7/28	メインホール	こどものための楽器体験 鼓童 for KIDS	新潟県佐渡島に拠点を置く太鼓芸能集団「鼓童」に所属する大和市文化芸術顕彰受賞者の三枝晴太ほか、渡辺ちひろ、尾崎泰右を講師に迎え、和太鼓の楽器体験を実施しました。午前中は未就学児と保護者、午後は小学生と保護者を対象とし、それぞれの年代に合わせたレクチャーを行いました。普段触れることのできない楽器の鑑賞と体験、またステージ上という特別な場所での実施により、次世代育成とともに、ホールとの新たな接点を創り出す機会となりました。	未就学 18組 小学生 13組

9/7	サブ ホール	劇団かかし座による、 影絵ワークショップ	影絵を専門とする劇団「かかし座」によるワークショップを開催しました。影絵の仕組みや手影絵などを体験した後、画用紙やセロハンなどの身近な材料を使用し、オリジナルの影絵人形を製作しました。約 2 時間、親子で一緒に取り組むことにより、より一層、親子の良好な関係づくりに寄与する時間を創出しました。	30 名 (満員)
9/11	メイン ホール	学校プログラム 知ってる？シリウス& プリンク・パーカッション によるミニ・コンサート (大和市立上和田小学 校 3 年生)	大和市ゆかりのアーティストたちの協力を得て、学校教育の一環として提供する学校プログラムを実施しました。今回は小学 3 年生のカリキュラムである「まちたんけん」の授業として、本プログラムが採用されました。このことを受け、シリウスの施設紹介と大和市文化芸術顕彰受賞者のマリンバ奏者・山口真由子率いるパーカッションユニットのミニ・コンサートを構成しました。また指定席制とし鑑賞チケットを用意したり、本企画用の配布プログラムを作成したりと「施設を知る」「芸術鑑賞」の 2 要素を掛け合わせ、芸術文化をより身近に感じていただく機会につなげました。	48 名 (教職員 含む)
10/6	メイン ホール サブ ホール	憧れのアーティストに よる夢のレッスン～ 中川英二郎&エリック・ ミヤシロによるブラス クリニック	大和市内の中学校吹奏楽部と連携し、トランペットパートとトロンボーンパートを対象として実施しました。受講生に対し、基礎的な技術向上のための指導から、音楽への向き合い方や捉え方など、視野を広げる話まで、自身の演奏を交えながら、子どもたちの感性や興味に直接アプローチするようなレッスンを行いました。一流のアーティストとの貴重な交流により、若手育成へ貢献する機会となりました。	受講者 28 名 聴講生 120 名
10/15	メイン ホール	学校プログラム やまと寄席～特別編～ 落語のいろは (大和市立林間小学校 6 年生)	大和市ゆかりのアーティストたちの協力を得て、学校教育の一環としてお届けする学校プログラムを実施しました。「芸術鑑賞会の代替企画として実施してもらいたい」との学校側からの依頼を受け、大和市出身の落語家・柳家あお馬と太神楽師・鏡味仙成による落語会を開催しました。また、上和田小学校の実施の際と同様に、指定席制とし、鑑賞チケットを用意したり、本企画用の配布プログラムを作成したりと「施設を知る」「芸術鑑賞」の 2 要素を掛け合わせ、芸術文化をより身近に感じていただく機会につなげました。	155 名 (教職員 含む)
1/26	メイン ホール	侍 BRASS リハーサル公 開	10 月に実施したブラスクリニックに参加した市内中学校吹奏楽部を対象に、本番前のリハーサルを特別に公開しました。40 分ほどの限られた時間のなか	約 140 名

			で、アンサンブルのバランス調整や、演奏する際のニュアンス合わせなど、プロたちが行うリアルなりハーサルを見ることができました。出演者からは、冒頭と最後に学生たちに対しての激励のメッセージが送られるなど、サプライズな進行もあり、将来を担う学生たちに貴重な機会を提供することができました。	
--	--	--	---	--

連携事業				
日付	会場	事業名	内容	入場者数
5/11	引地台公園	第 47 回 大和市民まつり ～うたのおねえさん瀧本瞳「ファミリーコンサート」	大和市イベント観光課との連携企画として、大和市民まつりの出張コンサートを実施しました。まつりの特性に合わせ、出演者の選定を行い、プログラムは、「おかあさんといっしょ」の歌の中でも人気の高い曲を中心に選曲しました。加えて手遊びや掛け声など、ファミリーと一緒に楽しめる演出を追加しました。多くの来場者が足を止め、明るく元気いっぱいのトークと、優しく美しい歌声をお楽しみいただきました。	【1 回目】 約 400 人 【2 回目】 約 600 人
9/8	サブホール	劇団かかし座 ポケット劇場 【午前の回】 『三びきのこぶた』 【午後の回】 『おむすびころりん』	「0 歳から楽しめる影絵劇」として、影絵劇とともに、手影絵のパフォーマンスやレクチャーなどを行いました。鑑賞だけにとどまらない演出を加えたことで、影絵の世界を深く楽しんでいただくことができました。また市内からの来場者割合が非常に高く、子育て世代のニーズに応えられた事業の一つとなりました。	午前 195 名 午後 182 枚 (完売)
11/5	晃風園 ぬくもり	みんなの音楽会 出張版 ～佐藤和彦 with 新日フィル・プラス・アンサンブル	大和市ケアマネージャー連絡協議会との連携を図り、施設へ来場することが難しい方々へ芸術文化をお届けする出張音楽会を開催しました。出演は大和市文化芸術顕彰受賞者のチューバ奏者・佐藤和彦に依頼をし、新日本フィルハーモニー交響楽団に所属する金管五重奏による演奏を披露しました。プログラムはクラシックから歌謡曲、ジャズなど幅広い内容で構成し、約 1 時間の演奏を届けました。分け隔てなく文化芸術を楽しめる環境づくりの一助となりました。	入所者 35 名 職員 10 名
12/21	サブホール	カフェと音楽 ～グラスハープの音色 とコーヒーの香り～	シリウス館内のスターバックスコーヒーと連携し、コンサートを開催しました。サブホール内を店舗に見立て、テーブルや椅子、そしてクリスマスの装飾をし、照明で雰囲気演出しました。また、スターバックスコーヒーのバリスタたちが進行を務め、温かな雰囲気を創り出しました。	70 名

			グラスハーピストの大橋エリによるクリスマスソングを中心とした美しい音色の演奏と、スターバックスコーヒーならではのコーヒーエピソードトークなどを交えたプログラム構成で、ドリンクを片手に気軽に文化芸術を楽しむ機会につながりました。	
3/20	イトーヨーカドー 大和鶴間店 イベントスペース	FM やまと×やまと芸術文化ホール×J:COM presents 春のうららか”ちょこっと”コンサート	“地域の魅力を発信する”というコンセプトに賛同した「J:COM」が加わり、「FM やまと」との三者共同での企画を実施しました。 大和市在住のヴァイオリニスト・宇野未祐紀と、大和市文化芸術顕彰受賞者のサクソ奏者・北嶋恭子が所属するサクソ・カルテットが出演しました。各回とも多くのお客様が買い物途中に足を止め、音楽を楽しみました。地域に根差すメディアと地元アーティストとともに、文化芸術を身近に感じるきっかけにつながられました。	14:00～ 約 140 名 16:00～ 約 170 名

ウ) 市民参加型事業

a) 職場体験の受入れ

中学生の職業体験の受入れでは、ホールの裏側を知ったり施設の魅力を発見したり、ホールで働く人たちの業務を体験したりする機会を提供しました。未来を担う子どもたちとホールのつながりを醸成する機会として積極的に受け入れました。

b) アンケートの実施と分析

主催事業実施時にはアンケートを実施し、来館者の属性や傾向、来場者の満足度を公演ごとに分析しました。ウェブアンケートも引き続き行い、紙とウェブの両面でお客様の声を収集しました。また、インターネットで購入されたお客様には、認知経路の把握を目的にアンケートを実施しました。アンケート結果は、媒体効果や広告出稿による効果の分析と公演の性質にあわせた広告媒体の選定などに生かしました。

c) 友の会会員拡大に向けた活動推進

令和6年度の会員数は2,751人増え、12,751人に達しました。昨年度から引き続き、友の会チラシを年2回発行し、対象となる公演を視覚的にわかりやすくしたことや、ホールから発信する広報物には、会員募集の情報掲載とともに二次元コードの掲載をしたこと、ご入会希望のお客様に対しては、入会手続き方法を丁寧にサポートしたことなど、一つひとつの積み重ねが、多くのお客様の入会につながりました。

エ) 情報発信事業

a) 定期広報紙「ステージガイド」を使用した広報

ホール主催事業の季刊紙として、「ステージガイド」年4回発行しました。公演内

容を深く知っていただくための出演者インタビューが好評で、ここ数年において、常に認知経路の上位媒体としての地位を確立するに至りました。紙面の基調となるイメージは崩さず、イベントの性質にあわせ、デザイン性を考慮したり、やまとみらいのイベントが集約されている YAMATOMIRAI イベントサイトへ誘導する二次元コードの掲載をしたりなど、やまとみらいの活動周知にも努めました。

b) ホームページと各広報媒体との連動

やまと芸術文化ホールのホームページ、チケット発売の最新情報や、アーティストインタビュー、公演レビューなどを随時更新しました。紙媒体には二次元コードを掲載し、SNS や広告、メールマガジンなどでは、流入経路が確認できるようパラメーターを付与し、数値から把握・分析をすることにつながりました。

c) ポスターボードやチラシラックを活用した情報発信

小田急線大和駅構内の専用掲示板に掲示する公演ポスターは、定期的に内容を変更し、常に新しい情報を発信するように心がけました。また、その他のポスターボードでは、見どころや聴きどころなどのポップを追加するなどの工夫を行い、シリウス来館者への情報発信を積極的に行いました。商店街の協力店舗でのチラシ設置も継続して行いました。

d) 各種媒体への情報掲載

リリースに載せるキャッチコピーの工夫や、リリース配信後に記者へ直接アプローチをするなど、地域メディアでの情報掲載につなげました。有料のリリース配信や LINE 広告なども事業の性質にあわせて行った結果、施設の認知度向上につながり、新規来場者の誘致にもつながりました。

e) 地元媒体との連携強化

大和市文化芸術顕彰受賞者や市ゆかりのアーティストを起用した公演では、FM やまと、タウンニュース、J:COM の地元メディア 3 社を後援名義として協力を仰ぎ、取材や放送、番組出演など大和市の魅力や文化を発信する活動につなげました。

また、イベント告知のための番組出演やリリース配信などによるパブリシティ記事により、朝日新聞や神奈川新聞などの地域メディアで取り上げられる機会が増えました。

2) 実施体制

芸術文化ホールには貸館事業を担う運営部門、文化芸術事業を担う事業部門を設置し、円滑なホール運営を行いました。さらに、芸術文化ホールの広報部門がやまとみらい全体広報を担いました。舞台設備管理は株式会社シグマコミュニケーションズへ委託しています。

④ 舞台設備管理

舞台設備管理は、舞台運営の専門性を有する株式会社シグマコミュニケーションズに委

託し、安全・安心な施設利用の実現に取り組みました。令和 6 年度は、従来の安全対策に加え、迅速な情報連携体制の強化やスタッフの技能向上によって、より信頼性の高い管理体制を構築しました。

1) 設備機器の安全確保

ア) 舞台技術スタッフによる日常点検・保守点検

始業前の目視による状態確認、設備操作時の異音・異臭の有無確認を含む日常点検を徹底し、異常が見つかった場合は速やかな初期対応を実施しました。対応にあたっては、利用者の安全を最優先とし、施設担当者への迅速な情報共有とともに、保守業者との連携を図りました。

イ) 専門会社による保守点検

音響、照明、舞台、客席などの各設備に対し、専門会社による定期保守点検を計画どおり実施しました。日常点検や設備操作時の異常および不具合個所を保守業者と共有し、必要に応じて重点的な点検や修繕指示を行いました。

■定期保守点検 年間実施状況

下表のとおり定期保守点検は計画どおり実施しました。

設備	施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音響	メインホール				1-3						21.22		
	サブホール				8.9						20		
照明	メインホール						2-3						10-12
	サブホール						9.10						4.5
舞台	メインホール		20			5.6			11.12			3	
	サブホール		20			5			12			3	
客席	メインホール					6						3	
	サブホール			12							21		

※定期保守点検は、各設備の専門会社に再委託しました。

■ピアノ調律・点検 年間実施状況

年間計画に沿って調律・点検を実施しました。日程に関しては下表のとおりです。

ピアノ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フルコン 1	9		11		28.29		7		9		17	
フルコン 2	9		11		28		7		9		17	
グランド	9		11		28		7		9		17	

※ピアノの定期調律・総合点検（8月）は、専門会社に再委託しました。

2) 設備機器の長寿命化

専門業者との協議のもと、中長期的な修繕計画を策定。舞台機器の状態を継続的にモニタリングし、適切な時期での修繕提案・実施により、機器の長寿命化を図りました。

3) 事故の未然防止

令和5年8月にメインホールで起きた緞帳事故の教訓を生かし「安心安全を提供する実施体制」の一環として、日常点検の記録を日報にて共有、不具合発見時には施設担当者や保守業者と迅速に連携し、緊急時の対応体制を明文化したフローチャートを整備しました。有事の際には利用者への情報提供にも配慮し、施設担当者との協議によりタイムリーかつ的確なアナウンスによる利用者の安心と安全確保を実践します。

また、他施設の事故事例や安全対策情報は社内安全委員会を通じて現場にフィードバック。加えて、利用者が安心して施設を使えるよう、危険個所の警告表示や高所作業エリアの再確認を行い、さらなるリスク低減に努めました。

4) 舞台安全マニュアルの活用

舞台操作に係る事故の未然防止策の基本となる安全運用マニュアルを活用し、安全を最優先として業務を遂行しました。緊急時の初動対応を明文化したチャートにより、万一のトラブル時に迷うことなく対応ができる体制を整備し、関係業者との連携方法についても改めて確認を行いました。

5) 研修によるスタッフの育成

安全・技術・接遇の3点を軸に、スタッフの成長を促す多様な研修を企画・実施しました。令和6年度は特に、舞台芸術に関する知識を深める芸術研修会の内容を刷新し、現場での感性や理解を高める機会を提供。また、救命講習では応急処置だけでなく、利用者との連携を想定した実践的トレーニングを導入するなど、内容の高度化を図りました。

また定期的に安全な舞台運用のためのミーティングを実施し、質の高いサービス提供に努めました。

（２）図書館関連サービス

（対象施設：大和市立図書館、大和市立中央林間図書館、大和市立渋谷図書館、各地区学習センター図書室）

① 基本方針

大和市は、健康を市政運営の中心に据え、「健康都市」の実現を目指しています。その目標達成への大きなシンボルが、『『日本一の図書館』があるまち』のランドマーク、大和市文化創造拠点シリウスです。これまでも、「健康都市」の実現において文化施設は大きな役割を果たすことができるという考えのもと、大和市の文化的・健康的な発展に貢献してまいりました。市内図書施設の充実と、市民の身近にいつも本や読書が存在する環境の提供に取り組み、地域との連携強化を推進しました。

令和６年度は、子育て支援の一環として行ってきた絵本セットの団体貸出を地域連携の基盤として展開させました。

運営にあたっては次の５つの行動指針を掲げ、推進しました。

○幅広い世代の人が読書に気軽に親しめる環境づくりを実現します

本や読書の魅力を広く発信し、本に親しみ、読書の喜びを感じることができる読書機会を創出します。

○おひとりさまや高齢者の方にも居心地の良い、第３の居場所を提供します

いつでも快適に、だれでも気軽に立ち寄れる施設として、質の高いサービスの提供に努めます。

○図書館の本質的機能である情報、資料の収集と提供の充実を目指します

社会の変化や市民の要求を的確に捉えた資料提供を行い、知る自由を保障します。

○電子図書館をより有効に活用し、新しい読書環境を提供します

図書館に来館できない利用者や本を読むことが難しい方々に対し、電子図書館を活用して読書活動の場を提供します。

○安心安全な管理運営を実現します

来館される利用者が、安心して、安全に過ごせる環境管理、危機管理に努めます。

② サービス提供に関する取組

公共図書館の役割を理解した上で、すべての利用者に平等で公平なサービスを提供しました。

１）日常的なサービス提供

カウンター対応は利用者にとってすべてのサービスの入り口であり、また利用したいと思っていただくためには、気持ちの良い接遇が必要です。スタッフの対応も居心地の良さにつながる要素であると心得え、研修などを通して接遇力の向上に取り組みました。

また、図書館では多くの個人情報扱うため、適切な保管や処理を行い、取扱いには

細心の注意を払いました。

2) 民間のノウハウを生かしたサービス向上

仕様書に記載されている業務を確実に遂行するとともに、さらに民間のノウハウを生かして、業務の効率化や改善に取り組みました。その一環として、1 階総合案内でのリモート接客実証実験を行いました。

レファレンスサービスにおいては、MARC を用いた検索や調査事例の蓄積を行い、また担当スタッフの研修受講や勉強会による研鑽を通して、レファレンス力の向上に努めました。

3) 様々な利用者が利用しやすい環境づくり

図書館には様々な世代、背景をもった利用者が訪れるため、すべての利用者がストレスなく利用いただけることが大切です。そのために研修などを通して利用者の特性をよく理解し、状況に合った適切な対応に努めました。

③ 事業報告

1) 事業方針及び事業内容

令和 6 年度は、2 図書室を含む全施設において、例年以上に積極的な環境改善や事業の実施などを行い、地域の方々との連携強化と読書活動推進に努めました。

ア) 大和市立図書館

市が進める「健康都市やまと」の実現や、読書活動推進のため、健康意識を啓発する事業や、読書への関心を高める事業などに取り組みました。実施にあたっては、従前どおり市民講師を軸にしながら、外部との連携も積極的に行いました。

令和 4 年度からの「こども読書よむ読むプラン」(第 4 次大和市子ども読書活動推進計画)に定められた計画の目標や方策をよく理解した上で、子どもの読書活動推進事業を実施してまいりました。

ア) 各種事業

事業名	内容
読書をテーマにした事業	読書会など、読書を通して気付きが得られるような事業を企画した。
映画会	9 月には通算 100 回目の開催を迎え、サブホールで開催した上映会は 160 人の動員を記録した。整理券の配布方法も試行錯誤しながら、利用者の満足度向上に努めた。
バリアフリー映画会	障がいがある方にも一緒に映画を楽しんでいただく機会を提供。3/12 にサブホールで『聖の青春』を上映し、97 人が来場。障がいをお持ちの方などの先行受付を行った。
ティーンズ世代向け事業	シリウス図書委員会 Blue Stars を立ち上げ、中高生と一緒にティーンズ世代の読書推進やイベント参加促進

	のための活動を行った。まんがやゲームといった若い世代の関心と呼びそうな催事を企画したものの、当事者の参加にはなかなかつながらない。県教委など、教育・図書館方面からの注目度が高い事業でもあり、今後も積極的な展開を継続していく。
--	--

b) 展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	時事や時節などを意識したテーマで、本との出会いや、関心の喚起を演出できる展示を行った。
小説をよもう展示	新たな作家や物語を手取るきっかけとなる展示を行った。
こども図書館展示	子どもの関心を喚起するような展示を行った。イベントと連動した絵本の複製原画展示なども実施した。
ティーンズ展示	ティーンズ世代ならではの話題をテーマに、読書への関心を喚起する展示を行った。シリウス図書委員会メンバーのおすすめ本など活動のPRにつながる掲示も実施。
健康コーナー展示	市民の健康への関心を喚起する、健康テラス事業と連動した展示を行った。
行政との連動展示	市の各課と協力し市の施策や取組をPRする展示を行った。産業活性化課「商業戦略計画改定案ポスターセッション」アンケート実施などにも協力した。
音楽配信	音楽配信サービスを提供した。

c) 児童サービス

事業名	内容
家読を推進する事業	家読への関心や読書を推進するための事業を企画した。5事業27回開催し、903人が参加した。
ブックスタート事業	市の4か月健診で実施。合計48回実施し、1,759組が参加した。令和6年度からお渡しする絵本が1冊となったため、配布冊数も同数。
セカンドブック事業	市の3歳6か月健診時に本の引換券を配布。市立図書館では480冊、3館合計で1,029冊をお渡しした。新規の引換券配布は令和6年度で終了となり、令和7年度は引き換えのみ行う。
おはなし会・出張おはなし会の実施	絵本、紙芝居などの読み聞かせや手遊びなどを行った。136回開催、2,780人が参加。
ブックリストの作成・配布	子どもの年齢に合わせた本を紹介するブックリストを作成した。vol.8のテーマは「数・数字」。
こどもとしょかんだよりの作成・配布	本や読書に関心を持ち、こども図書館をより知っていただくために発行し、配布した。
調べる学習地域コンクール開催	調べる学習の成果を発表する場として、大和市での地域コンクールを開催。7,428点の応募があり、このうち40点を全国コンクールに推薦した。
一日図書館員	図書館員の仕事を体験する機会を提供した。7、8月に3回実施し、計46人が参加した。
団体向け児童書リサイクルフェア	図書館で不要とした児童書を団体に向けて提供した。7/8に開催し49団体、83人が参加した。
市民まつりへの出展	子ども読書活動推進会議との連携により実施した。5/11、12に開催。森のとしょかんコーナーなどを設置し、普段とは違う環境で、来場した家族連れが本に親しむ機会を提供した。
読書フェスティバルへの参加	地域や学校とともに本や読書に親しむ場を提供。11/16シリウスサブホールにて開催。読書感想文コンクール

	と図書館を使った調べる学習コンクールの入賞者の表彰を行った。
子ども読書活動推進事業	読書活動を推進する事業を実施した。絵本作家モリナガ・ヨウ先生を招いての読み聞かせとワークショップなどを開催。
団体貸出の強化	市内の子どもが集まる場所に、絵本 30 冊入りの木箱を 1 年間貸し出した。24 セットの利用があった。
アウトリーチサービス	学校など館外で実施する講座やおはなし会など、アウトリーチの取組を行った。大和南高校への出張授業のほか、大和高校「総合的な探究の時間発表会」参加、市外小学校の POP 作成授業への協力などを実施した。

d) ボランティアの育成・連携

事業名	内容
おはなし会の協働	市が選定したボランティア団体との協働によるおはなし会を開催した。「おひぎでだっこのおはなし会」(第 1 火曜日)、「みんなでたのしむおはなし会」(第 2 水曜日)、「親子で楽しむおはなし会」(第 4 水曜日)。
ボランティア育成	読み聞かせボランティアを育成する講座を実施した。入門編 2 回、乳幼児編 3 回、ブラッシュアップ編 2 回、ストーリーテリング 3 回の計 10 回で 180 人が参加。
ボランティア交流	読み聞かせボランティアやブックスタート・ボランティア同士が情報交換を行える会を開催。3 回で 54 人参加した。

e) 団体・学校向けサービス

事業名	内容
団体貸出	地域の機関や団体へ向けて資料の貸出を行った。図書 45 件 4,375 冊、視聴覚 40 件 51 点、協力団体 24 件 720 冊の利用があった。
学校貸出	学校へ向けて資料の貸出を行い、授業を支援した。19 件 676 冊貸出。
施設見学対応	学校からの施設見学を受け入れ、図書館について知っていただく機会を提供した。13 件 498 人参加。
職場体験等対応	市内中学校の職場体験や、大学生の図書館実習、教職員の社会体験研修などの受入れを実施。13 件 33 人参加。

f) 健康情報サービス

事業名	内容
健康コーナーの運営	分類にとらわれない幅広い資料を収集、分かりやすい配架を行い、健康や医療に関する資料や情報を提供した。
疾病別ラベル・出版年ラベルの貼付	1 冊ごとに「疾病別ラベル」と「出版年ラベル」を貼付した。
健康・医療に関するレファレンス	健康コーナーの情報では解決できなかった場合や、さらに情報が必要な場合は、調査の支援を行った。健康レファレンス 149 件受付。
健康イベント	健康や医療に関するイベントを企画した。315 回開催し、5,398 人参加。ラジオ体操など体を動かすものから、「てつがくカフェ」などの知的領域まで、幅広い形で実施し、市民交流にもつながった。
認知症に関するイベント	認知症について理解を深めるイベントを企画した。8 月に人生 100 年推進課との連携による「認知症世界の歩き方 for キッズ」を開催。
健康情報サービスの発信	健康に関する情報提供や健康情報サービスを知っていただくために広報誌を作成、配布。がん啓発月間の掲示

	を新設した。
健康度見える化コーナー	健康度見える化コーナーを管理・運営した。コグニバイクが3月末で終了し、他施設への設置となった。

イ) 大和市立中央林間図書館

令和6年度事業計画書においては、中央林間駅直結の好立地を生かし、どの利用者層にも満足いただける魅力的な取組を展開するとともに、地域連携活動も積極的に推進する計画を定めました。この事業計画に基づいて各種の事業を実施し、図書館の利用促進および利用者満足度の向上を図りました。

a) 各種事業

i) おはなし会

大和市市民交流拠点ボラリスと連携したおはなし会を月1回開催しました。おはなし会を通して子どもたちが絵本に触れ合う機会を提供し、読書への関心を高めるとともに、図書館を利用するきっかけを作ることにも努めました。参加者数は前年と比べ微増(R5年度:計361人→R6年度:計363人)でした。

実施日	参加者数			備考
	子ども	大人	計	
4/27	12人	16人	28人	
5/25	18人	19人	37人	
6/22	15人	16人	31人	
7/26	10人	11人	21人	
8/24	15人	14人	29人	
9/28	17人	15人	32人	
10/19	12人	12人	24人	
11/23	20人	18人	38人	
12/21	16人	14人	30人	クリスマススペシャル
1/25	12人	12人	24人	
2/22	17人	18人	35人	
3/22	17人	17人	34人	
計	181人	182人	363人	

ii) カフェとの連携事業

隣接する星乃珈琲店との連携事業として、「作家の机」「ブックレビュー」を継続実施しました。また、星乃珈琲店からお借りした「旅の情景が描かれた絵画」と図書館所蔵の「旅の本」を集めた「旅する絵画と旅の本展」を開催しました。

日付	会場	事業名	内容
通年	星乃珈琲店内	作家の机	星乃珈琲店の利用者にふさわしい作家/テーマの本を展示。年4回展示替え。
通年	館内/星乃珈琲店内	ブックレビュー	星乃珈琲店の閲覧用図書の中から選定した図書のレビューを図書館で作成。星乃

			珈琲店で印刷。年4回発行。
12/6-2/23	館内	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品展示	星乃珈琲店絵画コンテストの受賞作品の中から「旅の情景」が描かれている作品を展示。同時に平台でも「旅の本」を集めて展示。

iii) 中央林間東急スクエアとの連携事業

商業施設内にある図書館という特色を生かし、令和4年度から開催している無印良品との連携イベントを継続して開催するとともに、夏休み特別企画として中央林間東急スクエアと共同でスタンプラリーを開催し、多くの子どもたちに参加していただきました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
7/20-8/31	館内	東急スクエアコラボ「中央林間図書館に行こう！わくわくスタンプラリー」	東急スクエアとの連携企画として小学生以下を対象としたスタンプラリーを開催。期間中2回来館で達成賞を進呈。またおすすめ本紹介カードも募集し、9月に東急スクエア1階に展示。	スタンプラリー353人、おすすめ本紹介カード175人
6/16	東急スクエア2階	無印良品連携企画「保冷剤でアロマジェルポットをつくろう！」	無印良品の店舗内で図書館スタッフによる読み聞かせを行った後、無印良品スタッフが講師となり手作りワークショップを開催。	23人
12/8		無印良品連携企画「ハギレで作るオリジナルクリスマスツリー」	好評につき、1日2回開催。	15人
7/26	館内	キッズスタッフイベント	東急スクエア主催の小学生向けおしごと体験イベントに参加。配架やバックヤード見学などを体験。	2人

2階店舗「VERY VERY」との連携を継続。館内各所に観葉植物を設置し、利用者にとって居心地のよい空間となるよう館内を彩りました。

iv) つる舞の里歴史資料館との連携事業

9月にシリウスのギャラリーで開催されたつる舞の里歴史資料館の企画展「金子皓彦コレクション展 知られざる寄木細工の世界」に連動し、当館では「さまざまな模様」と題した展示を開催。また、令和6年度は当該資料館の学芸員を講師に招き、大和市の文化財についての講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
6/19-9/18	郷土資料コーナー	古写真展示	つる舞の里歴史資料館の古写真展期間に合わせ、同資料館から提供いただいた中央林間駅付近の古写真を展示。	-

9/1-9/30	平台	さまざまな模様展示 (図書館 3 館合同展示)	寄木細工をはじめとしたステンドグラスやモザイクアートなど東西の「模様」を紹介。自由に模様を作れるコーナーを設置し、市内他館の展示も紹介。	-
1/18	学習室	つきみ野遺跡&大和市の埋蔵文化財講座	つる舞の里歴史資料館学芸員を講師に招き、大和市の文化財についての講座を開催。講座後、つきみ野遺物の写真などを使ったメモパッド作りのワークショップを開催。	10 人
1/2-1/31	平台	つきみ野遺跡展示	つきみ野遺跡&大和市の埋蔵文化財講座(上記参照)に合わせ、つきみ野遺跡関連資料を展示。	-

v) 健康関連講座

利用者にとって関心の高い健康関連のテーマを選定し、以下の講座を開催しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
8/5	学習室	認知症世界の歩き方 for キッズ&オレンジミサンガを作ろう!	大和市人生 100 年推進課から講師を迎え、小学生向けの認知症講座を開催。講座後、ミサンガでオレンジリングを作るワークショップを実施。	9 人
11/5	ポラリス	終活講座「はじめての終活講座」	大和市人生 100 年推進課の終活コンシェルジュを講師に迎えて終活講座を開催。	14 人
3/8	ポラリス	食講座「毎日できる! 免疫力 UP 飯」	大和市健康づくり推進課の管理栄養士を講師に招き「免疫力」と「食」の基本について学べる講座を開催。	26 人

vi) 手作りワークショップ

当館の館内装飾等を手掛けているスタッフが講師となって、年代を問わずに参加できる手作りワークショップを開催し、関連資料の利用促進を図りました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
10/26	学習室	手作りワークショップ「フェルトで作るバラコサージュ講座」	図書館スタッフが講師となり、フェルトでバラのコサージュを作る講座を開催。	9 人

vii) 地域のイベントとの連携

地域で行われるイベントに積極的に参加することで、普段図書館を利用しない方にも図書館の活動を広くアピールするとともに、地域の方々と交流し絆を深めました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
5/26	柿の木通り公園ステージ	中央林間手づくりマルシェ「中央林間図書館の読み聞かせ」	地域で年2回開催されるハンドメイド作品の販売と地元中学/高校が演奏する音楽ステージのイベントに参加。公園ステージの幕間に大型絵本の読み聞かせを実施。	191人
11/24				146人
9/7	ポラリス	中央林間連合自治会秋祭りとの連携事業「オリジナル缶バッチを作ろう！」	自治会との連携事業として、自治会秋祭り会場に隣接するポラリスで開催。図書館スタッフがデザインしたイラストにぬり絵をするか自身で描いた絵をその場で缶バッチにしてプレゼント。	子ども146人

b) 展示コーナー等の運営

月ごとにテーマを決め、メインエントランスと平台を使ったテーマ展示を行いました。季節やトレンドを意識したテーマを選定し、利用者と本との出会いを演出するとともに、“図書館の顔”として来館者の目を引くような展示を心がけました。

また入口付近には 5themes と題したコーナーを設置し、タイムリーなテーマを 5 つ選定して短期間で展示を入れ替えることで、来館頻度の高い利用者にとっても常に新鮮な本と出会う機会を提供しました。

月	場所	展示テーマ
4月	メインエントランス	身近な自然
	平台	Photo / 5themes
5月	メインエントランス	小田急線で行こう！図書館を巡ってなぞとき体験 in 大和市 2024
	平台	小田急線で行こう！図書館を巡ってなぞとき体験 in 大和市 2024 / 5themes
6月	メインエントランス	さらに、インテリア
	平台	読んで知って考える SDGs / 5themes
7月	メインエントランス	読書はじめました
	平台	子育て応援コーナー 開設 3 周年 / 5themes
8月	メインエントランス	おうちで読もう！
	平台	図書館を使った調べる学習コンクール受賞作品レプリカ展示 / 5themes
9月	メインエントランス	ハンドメイド いろいろ
	平台	さまざまな模様 / 5themes
10月	メインエントランス	東西ファンタジー
	平台	体を動かそう！スポーツの秋 / 5themes
11月	メインエントランス	世界食堂
	平台	みんなのおすすめ本 / 5themes
12月	メインエントランス	来年はへび年です
	平台	旅する絵画&旅の本展示(星乃珈琲とのコラボ企画) / 5themes
1月	メインエントランス	今もつながる江戸の文化と生活
	平台	つきみ野遺跡 / 5themes
2月	メインエントランス	待ちどおしくなる春が来る！

	平台	ほっこり温まる本 / 5themes
3 月	メインエントランス	街角の風景
	平台	おいしく食べて免疫力をあげよう！ / 5themes

c) その他

i) 小学校の施設見学、中・高校生の職場体験を受入れ

・中央林間小学校 2 年生の施設見学が 10/15 に行われました。今回は児童 14 人と教諭ほか 4 人が来館。館内を見学したあと、児童からのインタビューを受けました。

・学校連携事業の一環として、中学生・高校生の職場体験を受け入れました。生徒達には、返却本の配架や書架整理など基本的な業務を担当してもらいました。実際に図書館の仕事を経験することで、働くことの厳しさや喜びを味わい、また図書館に関心を持つきっかけになったと期待しています。

7/30-31 県央地区インターンシップ：高校生 2 人

11/26-27 職場体験受入れ : つきみ野中学校 2 年生 2 人

1/23-24 職場体験受入れ : 南林間中学校 2 年生 2 人

1/27 職場インタビュー受入れ : 鶴間中学校 1 年生 5 人

今後も施設見学や職場体験をより効果的に進めていくため、地域の学校と緊密な連携を図っていきます。

ii) 各種イベント

日付	会場	事業名	内容	参加者数
4/1-	図書館内	開館 6 周年企画	6 周年記念品として、障害福祉サービス事業所あるむ作製の「ちぎり絵付きしおり」を配布	配布数 1,000 枚
4/27-5/31	図書館内	小田急で行こう！図書館を巡ってなぞとき探検 in 大和市 2024	図書館 3 館、図書室 2 室、小田急線 4 駅を巡って謎を解く、やまとみらいと小田急電鉄とのコラボレーション企画	達成賞引換 58 人
8/9	ポラリス	おはなしのひろば 中央林間図書館 ～こわいおはなし会～	小学生を対象としたこわいおはなし会を開催。紙芝居、絵本の読み聞かせと朗読を実施	12 人
11/3	学習室	おすすめ絵本の POP をつくろう！ワークショップ	やまとみらいまつり連携イベント。参加者おすすめの本の POP を作成する地区館合同のワークショップを実施。	11 人
12/21	ポラリス	ホリデーカード配布	おはなしのひろば中央林間図書館にて、当館スタッフが手づくりしたホリデーカードを参加した小学生以下の子どもたちにプレゼント。	配布枚数 100 枚
1/2-1/7	図書館内	図書館おみくじ	館内にラッキーマスクを掲載したおみくじを設置。自由に引いてもらった。	400 枚

ウ) 大和市立渋谷図書館

市南部地域に根差した様々な世代や背景を持つ利用者の読書活動拠点を目指し、各種事業を計画・実施しました。

a) 各種事業

i) おはなし会の開催

月2回（第1土曜日：乳幼児向け、第3土曜日：小学生向け）定例おはなし会を開催しました。また、謎解きや自由研究をテーマとしたワークショップなどを取り入れたスペシャル版おはなし会を季節ごとに開催し、読書活動や図書館をより身近なものと感じられるように努めました。

月	回数			参加者数			備考
	定例	そのほか	計	子ども	大人	計	
4月	2回	－	2回	20人	10人	30人	
5月	2回	1回	3回	22人	16人	38人	春のスペシャルおはなし会
6月	2回	－	2回	10人	10人	20人	
7月	2回	－	2回	6人	6人	12人	
8月	2回	1回	3回	13人	12人	25人	夏のスペシャルおはなし会
9月	2回	－	2回	21人	13人	34人	
10月	2回	1回	3回	19人	11人	30人	秋のスペシャルおはなし会
11月	2回	－	2回	9人	8人	17人	
12月	2回	－	2回	7人	6人	13人	
1月	1回	－	1回	2人	1人	3人	
2月	2回	1回	3回	17人	6人	23人	冬のスペシャルおはなし会
3月	2回	－	2回	7人	4人	11人	
計	23回	4回	27回	153人	103人	256人	

ii) ティーンズ世代向け事業の実施

ボードゲームを通して交流を図る中高生向けの事業を実施しました。参加者数こそ多くなかったものの、ゲームに興じながら学校での様子を語り合うなど、少人数ならではの密な交流を図ることができました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
1/17	渋谷学習センター 307 会議室	渋谷図書館ボードゲーム部	ボードゲームを通してティーンズ世代同士の交流を図る。	2人

iii) 大人・シニア世代向けイベントの実施

令和5年度に引き続き、関心の高いマネー講座を実施しました。相続をテーマに、専門講師による事例を交えた講義の後、個別相談にも応じていただき、満足度の高い講座となりました。また、大和市健康づくり推進課の「出張けんこう教室」の制度を利用し、渋谷図書館では初めての開催となる健康講座も実施しました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
6/23	渋谷学習センター 304・305 講習室	マネー講座「正しい相続制度を知る終活のススメ～相続を争続にしない為の備え～」	専門講師による、法律上の制度や終活等についての実例を交えた講義。	31 人
2/19	渋谷学習センター 304 講習室	出張けんこう教室「フレイルについて知ろう！予防しよう！」	測定器での血行動態測定及び保健師による数値の解説。フレイルについての講和。	13 人

iv) 認知症に関するイベントの実施

小学生を対象とした「認知症世界の歩き方 for キッズ 卵の殻でオレンジライトを作ろう！」では、大和市人生 100 年推進課職員による動画やワークを用いた講座の後に、卵の殻で小さなオレンジライトを作りました。楽しみながら認知症理解を深められる講座となりました。

また、令和 5 年度に引き続き、福田南地域包括支援センターとの共催で、認知症カフェ「話笑和の輪（わわわのわ）」を開催しました。令和 6 年度は「ボッチャ」を取り入れ、歓談だけでなく、体を動かしながらの交流も図ることができました。恒例となりつつある図書館 3 館の合同企画「ちいさなオレンジライトアップ」でも支援センターのボランティアが作成した装飾を展示し、認知症理解とともに支援センターとの連携も一層深めることができました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
7/31	渋谷学習センター 310 講習室	認知症世界の歩き方 for キッズ 卵の殻でオレンジライトを作ろう！	人生 100 年推進課と共催で、認知症について動画やワークで学び、卵の殻でライトを作る講座を実施。	12 人
9/25	渋谷学習センター 304・305 講習室	おれんじカフェ「話笑和の輪（わわわのわ）」	福田南地域包括センターとの共催で認知症カフェを実施。	7 人

v) バリアフリー映画会の開催

バリアフリー映画「じんじん」を上映しました。絵本を題材とした作品だったこともあり、関連絵本の展示を行うことで、より図書館らしさを演出できた映画会となりました。令和 5 年度に引き続き、近隣の手話サークルから 7 人の参加もあり、当事者にも楽しんでいただく機会を提供できました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
11/20	渋谷学習センター 2 階多目的ホール	バリアフリー映画会「じんじん」	視覚や聴覚に障がいのある方に映画を楽しんでもらうとともに、障がい者の社会参加について考える機会となった。	27 人

vi) 情報発信の充実

大和市内 3 図書館 2 図書室合同アカウントでの Instagram を開設しました。写真やイラストを用いての展示や講座情報発信のほか、イベントの開催報告も定期

的に行うことでアーカイブ要素も取り入れることができました。

b) 展示コーナー等の運営

i) 本のテーマ展示

毎月季節や企画に合わせたテーマで展示を行いました。8月のティーンズ向け展示では、より読書への興味を持っていただけるように本の紹介POPを作成しました。また11月には、やまとみらいまつりで実施したPOPワークショップで参加者に作成いただいたPOPの特別展示も行いました。

月	場所	展示テーマ
4月	一般	ドラマを読む
	ティーンズ	情報社会を生きる
	児童	なぜ？どうして？みのまわりのぎもん
5月	一般	鉄道
	ティーンズ	すごい人たち
	児童	ありがとうの本
6月	一般	みどりに癒される
	ティーンズ	天気を読む
	児童	読んで、知って、考えるSDGs
7月	一般	海の物語
	ティーンズ	すきま時間で読書
	児童	生き物たちの世界
	特別	課題図書
8月	一般	フランスの本
	ティーンズ	「〇〇に夢中！」な本
	児童	夏休み！宿題応援2024
	特別	課題図書
9月	一般	読んで味わう食の本
	ティーンズ	生き抜く力（自殺予防啓発キャンペーン展示）
	児童	夜空を見上げて
	特別	木の工芸品・工作（つる舞の里歴史資料館関連展示） ／アルツハイマー月間（ちいさなオレンジライトアップ／福田南地域包括支援センターたんぽぽの会）
10月	一般	動物の世界
	ティーンズ	エッセイ
	児童	おかしのほん
	特別	ピンクリボン月間
11月	一般	お酒
	ティーンズ	図書館がすき♡

	児童	こんな遊び、どう？
	特別	POP ワークショップ作品展示
12 月	一般	シリーズ物 集めました
	ティーンズ	本でポカポカ、冬支度
	児童	学習室にある本
1 月	一般	浮世絵の世界
	ティーンズ	日本の文化・和のこころ
	児童	今年の主役！へびが出てくる本
2 月	一般	大和のことをもっと知ろう
	ティーンズ	おふろの本
	児童	海外文学
3 月	一般	神奈川ゆかりの作家たち
	ティーンズ	日本のファンタジー
	児童	春がきた！

ii) 地域連携展示

9/7-16 にシリウスギャラリーで開催されたつる舞の里歴史資料館の企画展示「金子皓彦コレクション 知られざる寄木細工の世界」に合わせ、木を使った工芸品や工作に関する資料や資料館からいただいた過去の企画展のパンフレットを展示しました。利用者の視界に入りやすい場所で展示していたこともあり、足を止めてポスターや資料をご覧になっている方も多くいました。企画展示資料だけでなく、郷土資料コーナーの古写真にも興味を持っていただき資料館の案内へ繋がった方もいました。

c) その他

i) 子ども向けイベントの実施

株式会社トゥーマーカープロダクツのご協力で、発色が良く色々な素材に描ける不透明水性マーカー「コピックアクレア」の描き心地体験を実施。絵本作家 tupera tupera さん描きおろしの特製ワークシートへのお絵描きを体験してもらいました。きょうだいや親子で会話が弾む様子も見られ、年齢問わずお楽しみいただけました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
2/23	調べ学習室	コピックアクレアお絵描き体験	水性の不透明カラーマーカー「コピックアクレア」でのお絵描き体験。	15 人

ii) 地域連携イベントの実施

令和 4 年度から続く小田急電鉄とのコラボレーション企画では、普段はつきみ野学習センター図書室を利用されている方の来館もあり、市内図書施設を縦断的に訪れていただけるイベントとしての効果も実感することができました。

10 月には、高座渋谷駅西口ロータリーで開催された「渋谷祭（しぶさい）」に渋谷

学習センターと協働で「ちびっこお絵描きコーナー」を出展しました。コロナ禍以降、久しぶりの高座渋谷駅周辺の大きなイベントということもあり、当初の予想を上回る盛況ぶりでした。

そして12月には、渋谷学習センターで定期的実施している日本語を母国語としない人々のための日本語教室、体験会兼クリスマス会に読み聞かせとお絵描き体験コーナーで参加しました。図書館を利用したことがない親子が多い中、図書館を知ってもらおう契機になりました。

鉄道会社、地域の祭りや支援団体など、具体的なイベント実施につながる連携が図れました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
4/27-5/31	図書館内	小田急線で行こう！ 図書館を巡ってなぞとき探検 in 大和市 2024	図書館3館、図書室2室、小田急線4駅を巡って謎を解く、やまとみらいと小田急電鉄とのコラボレーション企画。	達成賞引換21人
10/6	IKOZA ピロティ	渋谷祭ちびっこお絵描きコーナー出展	小学生以下を対象としたお絵描きコーナーの出展。自由お絵描き・手形&スタンプの2種開催。	452人
12/22	渋谷学習センター310 講習室・図書館ほか	日本語教室親子体験&クリスマス会	日本語教室親子体験の一環で、読み聞かせを実施するとともに、館内にお絵描き体験コーナーを設置。図書館を知ってもらう機会となった。	54人

iii) やまとみらいまつり連携イベントの実施

11月3日のやまとみらいまつりで渋谷学習センターと連携し、「おすすめ絵本のPOPをつくろう！ワークショップ」を実施しました。完成したPOPは即日展示し、足を止めて興味深く見て下さる利用者もたくさんおり、翌日にはほぼすべての本が貸出しされました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
11/3	渋谷学習センター310 講習室	おすすめ絵本のPOPをつくろう！ワークショップ	好きな絵本を選んでもらい、そのPOPを作成、ワークショップ終了から1週間、館内にPOPを展示した。	11人

iv) 日本語を母国語としない人々の施設見学を受入れ

大和プレススクールに通う親子と、日本語ボランティア養成講座にゲストとして参加した人たちの施設見学を受け入れました。当日、利用登録をする参加者もあり、今後の継続した図書館利用の第一歩を手助けすることができました。

日付	会場	事業名	内容	参加者数
2/7	図書館内	大和プレススクールにほんごひろば	図書館の利用方法や館内の案内。	5人
2/28	図書館内	日本語ボランティア養成講座	図書館の利用方法や館内の案内。	11人

		スト		
--	--	----	--	--

エ) 大和市つきみ野学習センター図書室

a) 各種事業

事業名	内容
夏休みボランティア「このゆびとまれっ！」(仮)図書ボランティア入門	中高生のボランティア活動の推進事業として「図書ボランティア入門」を開催。参加者は市内在学在住の13名。7/14のオリエンテーション、7/23-8/17間に3回の書架整理や配架を手伝う活動の終了後、ボランティア活動証明書を授与した。
折り紙イベント	おりがみ体験のセルフ型イベントを図書室内で開催(5月/12月)。2月に館内2階集会室にて小学生を対象に「遊びながら学ぶ」を目的とし折り紙飛行機を作り飛距離を競い楽しむ講座を開催し、36名の参加があった。
つきみ野学習センターまつり「本のお楽しみ袋」	つきみ野学習センターまつりの連携事業として、新たな本との出会いを楽しめる「本のお楽しみ袋」イベントを開催。11/9-10の二日間で50セット配布。

b) 展示コーナー等の運営

事業名	内容
テーマ展示	季節に合わせたテーマや特定事項についての内容紹介した展示を一般・児童コーナーで毎月行った。
リサイクル本コーナー設置	年4回(5,8,11,2月)開催し、利用者から持ち込まれた多くのリサイクル本の再利用を行った。
各種講座の関連書籍の紹介コーナー設置	つきみ野学習センターで開催される各種講座・企画に興味を持っていたくように関連書籍を紹介展示。6つの講座で実施した。

オ) 大和市桜丘学習センター図書室

a) 各種事業

事業名	内容
子育て応援コーナー設置	子育て世代のためレイアウトを変更。ベビーカーのまま利用しやすいようにした。絵本コーナーを整理し、赤ちゃんコーナーを設置した。
利用者からのおすすめ本募集	図書室を身近に感じてもらえるよう利用者からおすすめ本を募集し、展示を行った。第1回は5名の参加。
おとなのひと息コーナーの設置	中高生やおとなが本を手にしてひと息つけるためのスツールやソファを設置した。

b) 展示コーナー等の運営

事業名	内容
日替わり展示	常連の方々が飽きることはないよう、日替わりでミニ展示を行った。
シリウスの閉架書庫から	桜丘しか利用しない方に「シリウス」を紹介する取組として市立図書館所蔵本の展示を行った。利用者に「閉架書庫」や「シリウス」の説明をするきっかけとなった。
利用者からのおすすめ本	利用者が図書室を自分のお気に入りの場所として親しみを感じてもらえるための展示。利用者からおすすめの本を募集して行った。展示したすべての本が貸し出された。

カ) 図書館・図書室連携事業

事業名	内容
つる舞の里歴史資料館との連携	9/7-16 シリウスで行われたつる舞の里歴史資料館の特別展にあわせ3館で関連展示を行った。各館で展示内容を工夫し、郷土の歴史を知る機会を提供した。

小田急線で行こう！図書館を巡ってなぞとき探検 in 大和市	好評の地域連携企画を、令和5年度に続き3図書館・2図書室合同で実施した。図書館での達成賞のお渡しは合計133人。1日司書には4人が参加した。
-------------------------------	--

2) 実施体制

窓口担当や児童担当、シリウスにおいては健康担当や選書・レファレンス担当などの部門を設け、各部門が連携、協力して業務を行い、各図書館・図書室同士で日頃から密に連絡し合いました。

全国で多くの図書館運営を受託しているノウハウと、図書館同士のネットワークを生かし、事業運営に役立てました。また本社においても図書館現場をサポートする体制を整えました。

(3) 学習センター関連サービス

(対象施設：大和市生涯学習センター、大和市北部文化・スポーツ・子育てセンター
各地区学習センター)

① 基本方針

令和元年度から始まった、健康都市やまとMANAB I 計画(大和市生涯学習推進計画)にのっとり、市民一人ひとりにとって居心地のよい居場所の提供と様々な事業を通して学びや交流、育ちのサポートに努めました。事業の実施にあたっては、受講スタイルや広報手段の多角化に取り組みました。施設の運営にあたっては、安全・安心に利用できる環境を整えました。

② サービス提供に関する取組

公平・公正なサービスはもちろんのこと、以下の考えにのっとり、すべての利用者に学びの楽しさを提供できる施設を目指しました。

1) すべての人に「分かりやすい」施設を目指します。

2) すべての人に「利用しやすい」施設づくりを目指します。

3) すべての人に「やさしい」ホスピタリティあふれる施設を目指します。

学習センターを利用する人々が、必要とする情報を手にすることができるように、分かりやすい掲示に努めました。また、様々な世代の方へ情報を発信する手段として、引き続き情報誌「まなびの風」、メルマガ、Instagram による情報の配信も行いました。

講座については、オンライン講座を引き続き実施するとともに、会場での講座を別会場でも受講できるサテライト講座の実施も行い、多様な受講スタイルを選べるようにしました。

ご意見箱でいただいたご意見の中で、改善ができるものについては積極的に取り組み、利用しやすい施設運営に取り組みました。

<改善例>

生涯学習センター	・受付前のスペースに「学習相談コーナー」を設置。学習のきっかけになるような資料を配架しました。来館者が気軽に手に取れる形で情報を提供することで、より主体的な学びにつながることを、また必要に応じて学習相談窓口への案内につなげることを目的としました。
北部・文化・スポーツ・子育てセンター	・受付周辺のレイアウトを変更して、よりオープンな受付づくりを実施しました。 ・市民交流スペースの座席を配置替えし、利用目的別にエリア分けすると同時に、座席の間隔を広げました。 ・市民交流スペース入口付近に「おはなしのもり」を設置し、図書館より借りた本をならべました。ポラリスにやってきた

	幼児が保護者と一緒に絵本を読む場となりました。 ・おむつボックスを設置し、乳幼児を連れた利用者の利便性を高めました。
つきみ野学習センター	・ギャラリー自習室に利用者の利便性向上のためフリーWi-Fiを設置しました。 ・会議室利用者の利便性の向上のため、貸出備品としてWi-Fiルーターを用意しました。
桜丘学習センター	・3階ロビーのショーケースを団体活動の成果発表スペースとして貸し出しました。
渋谷学習センター	・保育室に人工芝カーペットとアウトドア用のテント・大きなブロックを設置し、空間リノベーションを行いました。利用者同士の交流が促進し、お友達と一緒に来館するグループが増えました。

③ 事業報告

1) 事業方針及び事業内容

ア) 貸館事業

大和市が管理する学習施設予約システムを活用し、利用条件・利用方法・支払方法に関しては、現状の大和市生涯学習センター条例及び施行規則にのっとり運営しました。

ア) 各学習センター共通

i) 施設の貸出手続業務

事業計画にのっとり行いました。

令和6年度は、登録団体のうち「国及び地方公共団体」「公共的団体」「市民等の団体」「市民以外の団体」「営利団体」の更新作業を行いました。

ii) 貸出手続の流れ

事業計画にのっとり行いました。

iii) 経理業務と金銭管理

事業計画にのっとり行いました。

iv) 印刷室の運營業務

事業計画にのっとり行いました。

v) 職場体験等の対応業務

市内の児童、生徒の職場体験の受入に積極的に対応しました。また教員研修の受入れ、社会教育主事を目指す学生の現場研修の受入れも行いました。

<受入実績>

生涯学習センター	・令和6年7-8月 東海大学社会教育主事講習課程実習受入
	・令和6年8-9月 神奈川大学社会教育主事講習課程実習受入
	・令和6年10-11月 大和東小学校 社会見学受入
	・令和6年11月 引地台中学校 職場体験受入
	・令和6年11月 大和中学校 職場体験受入
北部・文化・スポーツ・	・令和7年1月 光丘中学校 職場体験受入
	・令和7年1月 南林間中学校 職場体験受入

子育てセンター	
つきみ野学習センター	・令和6年11月 つきみ野中学校 職場体験受入
桜丘学習センター	・令和6年11月 引地台中学校 職場体験受入
渋谷学習センター	・令和7年1月 上和田中学校 職場体験受入 ・令和7年1月 渋谷中学校 職場体験受入

vi) 選挙協力

第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判員国民審査に伴う投票所へ協力しました。

- ・北部文化・スポーツ・子育てセンター
10/20-26 期日前投票所として Room4,5 を使用
- ・つきみ野学習センター
10/27 投票所として 201,202 会議室を使用
- ・桜丘学習センター
10/27 投票所として 202 会議室を使用
- ・渋谷学習センター
10/20-26 期日前投票所として情報スペースを使用

b) 生涯学習センター

i) 市民交流라운ジの運営業務

- ・1時間に1度職員が巡回し、防犯対策、利用者対応を行いました。また、入口のインターホンで利用者からの要望に速やかに対応しました。
- ・市民交流라운ジの混雑状況の配信をホームページ上で行いました。

ii) 市民交流スペースの運営業務

- ・1時間に1度職員が巡回し、防犯対策、利用者対応を行いました。
- ・混雑による密集状態を避けるため、ホームページ上で混雑状況の配信を行いました。
- ・奥の一部スペースに「まんがLiving」を開設しました。まんがを通して子どもたちの共感や居場所づくりを目的としています。

c) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

i) 市民交流スペースの運営業務

- ・定期的に巡回し、防犯対策、利用者対応を行いました。
- ・近隣、中学校の定期試験前には、学校と連携をして利用する中学生の注意指導を行いました。

ii) アリーナの運営業務

- ・金曜日から月曜日にかけて、アリーナ個人利用として「卓球・バドミントン・バスケットボール・バレーボール」の4種を実施しました。参加状況を加味し、開催日を調整しながら行うことで、利用者の要望に寄り添いました。

iii) プレイルームおよび親子交流サロンの運営業務

- ・土曜日、日曜日のこども～るエリア閉園時にプレイルームの有効的な活用と

して、おななしひろば「中央林間図書館」を開催しました。

- ・絵本コーナーについて、定期的な入替えを図り、季節感のある絵本の配架に努めました。

d) 渋谷学習センター

i) ホールの運營業務

- ・市役所各課や地縁コミュニティによる催し、サークル・団体による成果発表の機会に対して準備段階から支援し、事前打合せにより未検討事項を洗い出し、当日のスムーズな進行に向けたサポートを行いました。

ii) キッズコーナーの運營業務

- ・小学生以下の子どもが自由に利用することができる放課後の居場所を提供しました。遊びを通じて子ども同士の交流を促進し、他所との関わりを通じた心の成長を育みました。定期的なおはなし会の開催や遊び方の提案を作成し定期的に更新しました。

e) 各地区学習センター

i) ギャラリーの運營業務

- ・事業計画にのっとり実施しました。
- ・渋谷学習センターではギャラリーの位置が入口正面であることから個人募集の作品展、館内装飾等によるにぎやかなしの演出を実施しました。

【つきみ野学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
5月	6日	つきみ野水彩画「四季」	春季作品展水彩画	486人
6月	7日	個人 荻野雄太様	セロハンテープ工作など	295人
11月	6日	つきみ野水彩画「四季」	秋季作品展水彩画	353人
	6日	彩の会つきみ野	絵画展	239人
合計	25日			1,373人

【桜丘学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4月	6日	裂画の会	絵画	188人
5月	7日	写団さくら会	写真	304人
	3日	桜陶会	陶芸	84人
	3日	桜彩会	絵画	171人
	3日	桜彩会	絵画	130人
6月	3日	保健給食課	健診	160人
	5日	絵画クラブ画夢人	絵画	203人
7月	1日	こども・青少年課	研修	30人
	7日	蕾の会	絵画	215人
10月	6日	きりえサークル	絵画	279人
	7日	写真同好会 こぶし	写真	181人
	6日	フォトクラブ写楽	写真	253人
11月	6日	写団さくら会	写真	266人

12月	1日	写画さくら会	写真	63人
	8日	サポートハウス ワン・ピース	その他	377人
合計	72日	2,904人		

【渋谷学習センター】

実施月	日数	団体名	展示内容	来館数
4月	7日	きりえサークル	切り絵	594人
	7日	個人	油絵・水彩画	231人
5月	2日	個人	イラスト・写真	49人
	7日	フォト渋谷クラブ	写真	331人
	2日	Y. P. A. ひまわり	絵画	44人
6月	4日	Y. P. A. ひまわり	絵画	137人
	7日	小さな旅のスケッチクラブ	水彩画	328人
	3日	指導室	中学校教科書	61人
	5日	エコ布ぞうりの会	古布作品	243人
	8日	やまとみらい セタイベント	七夕展示	—
7月	5日	Bの会	水彩画	202人
	1日	高座渋谷手作り甲冑隊	手作り甲冑	27人
8月	6日	高座渋谷手作り甲冑隊	手作り甲冑	222人
	5日	絵画教室つのもり	絵画・造形作品	241人
	1日	個人	イラスト	22人
	2日	南林間中学校	美術部作品	172人
9月	10日	渋谷学習センター みんなの作品展 ～夏の思い出を飾ろう～	絵画	—
	5日	マチエール絵画	水彩・油絵	269人
10月	4日	切り絵&灯り工房「やまと」	切り絵・エッグアート	199人
	2日	政策部総合計画	大和市総合計画 パネル展示	56人
	4日	切り絵&灯り工房「やまと」	ひょうたんランプ・エッグアート	349人
	3日	絵画クラブ画夢人	水彩画・油絵	142人
11月	4日	絵画クラブ画夢人	水彩画・油絵	250人
	6日	個人	絵画	458人
	5日	千本桜切り絵同好会	切り絵	310人
	5日	Y. P. A. ひまわり	絵画	210人
12月	1日	Y. P. A. ひまわり	絵画	34人
	3日	花みづきパッチワーク教室	キルト作品	289人
	7日	個人	アクリル	59人
	7日	個人	写真	332人
	6日	やまとみらい はじめてのあなたとつくる短歌講座	短歌	—
1月	3日	社会福祉法人 福慶会	絵画・オブジェ	80人
2月	12日	春さきどり展		—
	7日	湘南水彩スケッチ会	水彩画	498人
3月	7日	文化振興課	さくら文芸祭	517人

	2 日	個人	イラスト	60 人
	4 日	やまと生涯学習ねっとわあく ボランティア講師の会	パッチワーク・写真・ ちぎり絵	222 人
合計	179 日	7,238 人		

ii) 保育室の運營業務

事業計画書にのっとり実行しました。

【つきみ野学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	28	27	28	28	31	355 日
人数	371	443	450	449	409	475	442	361	376	451	445	521	5,193 人

【桜丘学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	28	28	31	357 日
人数	29	36	32	41	50	90	44	70	66	47	30	75	610 人

【渋谷学習センター】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	218	200	380	546	385	476	519	358	346	390	389	422	4,629 人

イ) 生涯学習事業

大和市が推進する「健康都市やまとMANABI計画」にのっとり、生涯各期他、各種事業を実施しました。目まぐるしく変化する社会に合わせて、オンライン講座の実施や、文化や芸術に触れる自主事業など多種多様な事業を展開しました。

また、個人学習の場として、会議室を活用した学習室開放事業を引き続き行いました。

「学び」を通して市民や地域のつながりを意識し、コミュニティ、文化の発展を意識し、ボラリスでは近隣自治会と連携して事業を行いました。

a) 会議室開放事業

i) 生涯学習センター

- ・土日や祝日を中心に、個人学習のために会議室を学習室として無料で開放しました。周辺の中学校や高等学校が定期テストや入試の時期には平日の午後も、積極的に開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	3	13	8	11	11	8	10	11	6	6	9	7	103 日
人数	13	294	238	294	198	253	302	378	277	189	254	202	2,892 人

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

- ・Room 4, Room 5 を個人学習の場として、終日開放をしました。
- ・Room 2 は土日祝祭日を中心に、グループでの活動や個人学習など市民による多

彩な活動のために、気軽に集え、交流できる場所として、市民開放をおこないました。また団体利用がない平日においても近隣の中学、高校と連携して、学力試験時期に適時開放しました。

<Room2>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	0	11	10	11	11	11	10	9	4	1	6	1	85 日
人数	0	172	177	46	51	25	177	273	164	7	185	32	1,309 人

<Room4,5>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	28	31	31	30	28	30	28	28	28	31	354 日
人数	700	1,579	2,081	1,786	1,617	1,614	2,081	2,111	1,423	1,475	1,959	808	19,234 人

iii) つきみ野学習センター

- ・ギャラリー展示利用がないときに学習室開放事業を行いました。個人学習や定期テスト学習のために積極的に開放し、誰もが気軽に利用できる学習の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	30	31	29	31	31	30	31	27	27	28	28	31	354 日
人数	213	290	396	367	511	467	359	336	373	335	455	353	4,455 人

iv) 桜丘学習センター

- ・空き会議室を利用した学習室開放事業を行いました。個人学習のために学習室を積極的に開放し、誰もが気軽に利用できる学習の場を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	31	30	31	31	30	30	30	28	28	28	31	357 日
人数	15	21	128	46	36	39	21	64	21	39	104	16	550 人

v) 渋谷学習センター

- ・ユースコーナーA・B・C・Dを個人学習及び読書推進のために無料で開放しました。

<学習室開放>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	100	255	583	267	245	378	366	654	308	327	501	171	4,155 人

<大人読書開放>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	29	30	29	30	30	29	29	29	28	27	27	30	347 日
人数	31	33	48	46	68	101	81	75	67	72	95	90	807 人

b) スタジオ開放事業

渋谷学習センターのスタジオ 302、303 を、団体登録ができない、個人や家族など様々な方に利用いただくために定期的に開放しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24 日
人数	24	28	47	29	25	31	32	36	19	20	28	21	340 人

c) アリーナ個人利用

北部文化・スポーツ・子育てセンターのアリーナでは、定期的個人利用日を設け、団体登録されていない方にもスポーツを楽しむ場を提供しました。市民の皆様の声を参考に、開催時間、種目を決定しました。

d) 生涯各期に合わせた講座、現代的課題に関する講座の開催

仕様書にのっとり事業を展開しました。時代の動きや社会の関心をとらえた講座企画を展開し、多くの市民の皆様から関心と反響をいただきました。中には、定員を増やして実施した講座もありました。また、講座を通して市民による学びの循環を促すことを目的に、受講生によるサークル化のサポートを行いました。

生涯学習センターでは、引き続き家庭教育学級実行委員と協力し、事業を行いました。今後も市民との協働、市民の意見を取り入れた講座を開催していきます。

その他、大和市国際化協会や地域で活動するサークルとも協力しながら講座を実施し、地域との連携に力を入れると同時に、市民の成果発表の場としても活躍いただきました。

オンライン講座や、やまとみらいカレッジでのサテライト運用も引き続き行いました。オンラインでの講座申し込みなど、受講の利便性を高め、市民が気軽に参加でき学ぶ機会を増やせる施策を実施しました。

今後も、地域の住民や団体と協力しながら、市民一人ひとりが主体的に関わることができる事業を展開し、学びの輪を広げてまいります。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和 6 年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	4 事業／13 回

青少年期	5 事業／12 回
成人期	4 事業／14 回
高齢期	3 事業／14 回
現代的課題	5 事業／111 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
子育て応援オンライン講座	6 回	65 人
イヤイヤ期ふえすていばる	3 回	572 人
おいしい笑顔をつくるおやつづくり～まいにちも特別な日も！幼児のおやつ～	2 回	21 人
パパとママで描く未来地図～仕事と家庭、両立のコツ～	2 回	3 人

子育て応援オンライン講座

月	内容	参加者数
4 月	背骨の発育とまんまる抱っこ	6 人
6 月	みんなで話そう我が子にぴったりの保育園・幼稚園との出会いが	14 人
8 月	実際に見てみよう ベビーフードの選び方 ・かしこい使い方	7 人
10 月	赤ちゃんの肌を守るために、正しい肌ケア	12 人
12 月	赤ちゃんからはじめる足育	13 人
2 月	楽しく運動不足を解消！ふれあい親子ヨガ	13 人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
小学生なつやすみ体験 ①素直な気持ちを伝える、聞く②キッズヨガをしてみよう ③英語で歌おうミュージカルソング④トールペイントでつくる壁かけ	5 回	71 人
昔ご飯でタイムトラベル～歴史の味を追いかけてよう！	2 回	46 人
大和高校 総合的な探究の時間発表会	1 回	26 人
児童家庭教育学級「思春期をしなやかに乗り越えよう！ レジリエンスを高める接し方講座」	3 回	82 人
子どもの未来を変える食の力 ～学力・身長・心の安定を支える毎日の習慣～	1 回	7 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
全国城巡り	8 回	318 人 サテライト 64 人
親の旅立ちに備えて～知っておきたい、準備と手続き～	2 回	55 人
センスが光る、年始のてみやげ～神奈川・大和編～	1 回	26 人
冬にととのえる身体づくり	3 回	88 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
ともに学ぶ ともに育む 中国語入門講座	10 回	62 人
腸内フローラと健康～健康寿命を延ばすために～	2 回	53 人
目指そう、健康 80 代！～70 代から始める栄養&筋力アップ講座～	2 回	50 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
子どもが子どもらしくあるために～法律を味方にして～	3 回	37 人
世界とつながろう ①日本で送るムスリム生活 ②移民第二世代が体験した 学校・地域 ③日本でのキャリアを築く	3 回	80 人
みんなでたのしもう！えほんとおんがく	1 回	54 人
食べて備える もしもの時にも役立つ防災食	1 回	21 人
学習室開放事業	103 回	2,892 人

北部文化・スポーツ・子育てセンター

区分	令和 6 年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	3 事業／24 回
青少年期	2 事業／7 回
成人期	2 事業／22 回
高齢期	2 事業／5 回
現代的課題	6 事業／450 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
おはなしのひろば「ポプラ」	10 回	139 人
おはなしのひろば「中央林間図書館」	12 回	363 人
音にあわせてリズム・リズム・リズム	2 回	19 人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
あそび塾Ⅱ	6 回	156 人
親子で学べる 今こそ！！防災	1 回	15 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
ガーデンデザインのコツ～ポラリスに花だんを作ろう～	1 回	17 人
ガーデンボランティア	21 回	51 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
心・体・元気 筋力アップ講座	4 回	54 人
ポラリス清話 大和の歴史を彩る人々（近代）	1 回	27 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
ポラリス放課後ルーム	8 回	78 人
（やまとみらいまつり） おすすめ絵本の POP をつくろう！ワークショップ	1 回	11 人
（やまとみらいまつり）ぬり絵でガッチャン！ オリジナル缶バッチのワークショップ	1 回	74 人
季節をたのしむ ゆるり大人の折り紙クラブ	1 回	13 人
市民開放事業	85 回	1,309 人
学習室開放事業	354 回	19,234 人

つきみ野学習センター

区分	令和 6 年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	3 事業/363 回
青少年期	5 事業/288 回
成人期	2 事業/9 回
高齢期	1 事業/12 回
現代的課題	8 事業/467 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
子育てサポートネット であいのへや（保育室開放）	355 回	5,193 人

おいでおいで♪～ねんね・ハイハイ組 おいでおいで♪～たっち組	6 回	147 人
子どもの可能性でひろがるミライ～非認知能力を育み人生に彩を～	2 回	12 人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
自由学習室	261 回	1,244 人
集まれ！つきみ野こどもクラブ	12 回	88 人
放課後将棋講座	12 回	85 人
わくわく不思議な錯覚講座	1 回	14 人
はじめて囲碁を打ってみよう！	2 回	26 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
花咲くガーデニングライフ～フラワーサポーター養成講座	7 回	87 人
花咲くガーデニングライフ～フラワーサポーター養成講座～課外授業～	2 回	4 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
フレイルを予防する健康体操	12 回	119 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
本のお楽しみ袋	2 回	50 人
(やまとみらいまつり) おすすめ絵本の POP をつくろう	1 回	4 人
(やまとみらいまつり) 缶バッジワークショップ	1 回	32 人
ゲームで防災！地域を見つめ直して命を守る DIG 講座	1 回	8 人
国際理解学習交流・在日外国人への日本語教育支援	41 回	216 人
学習室開放事業	354 回	4,455 人
季節のイベント	65 回	923 人
第 57 回・第 58 回朗読の会	2 回	116 人

桜丘学習センター

区分	令和 6 年度 実施事業数／実施回数
乳幼児期	3 事業／364 回

青少年期	2 事業／5 回
成人期	1 事業／1 回
高齢期	1 事業／1 回
現代的課題	6 事業／383 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
すくすく広場（保育室開放）	357 回	610 人
ちえりるんのへや	6 回	76 人
子育て講座～パパママに知ってほしい、子どもの自然メリット～	1 回	4 人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
わたしの☆ぼくの宝物～つくって楽しむ紙芝居	3 回	33 人
夏休み科学実験・工作教室 水性ペンの謎を解く」「②空飛ぶ円盤」	2 回	34 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
模様を描いて簡単リラックス！～ゼンタングル®講座～	1 回	15 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
冬のヒートショック～メカニズムと予防のポイント～	1 回	14 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
学習室開放	357 回	550 人
みんなあつまれ！ちえりるんのおはなし会	12 回	89 人
おもちゃ病院	11 回	91 人
防災講座 テレビの災害報道のいま	1 回	25 人
やまとみらいまつり おすすめ絵本の POP をつくろう！	1 回	6 人
やまとみらいまつり オリジナル缶バッジのワークショップ	1 回	35 人

渋谷学習センター

区分	令和 6 年度 実施事業数／実施回数
----	-----------------------

乳幼児期	4 事業／394 回
青少年期	1 事業／4 回
成人期	1 事業／1 回
高齢期	1 事業／2 回
現代的課題	7 事業／722 回

【乳幼児期】

事業名	回数	参加者数
あゆびす～AYUBIS～（保育室開放）	347 回	4,629 人
親子でおはなし会	22 回	192 人
ばあばのおはなしの部屋	21 回	209 人
英語で遊ぼう！ Story time Join us!	4 回	104 人

【青少年期】

事業名	回数	参加者数
令和 6 年度子ども科学講座 体験しよう♪ 科学っておもしろい！	4 回	72 人

【成人期】

事業名	回数	参加者数
プロフェッショナルに学ぶ仕事術 Vol.2 社長の極意	1 回	30 人

【高齢期】

事業名	回数	参加者数
はじめてのあなたとつくる短歌講座	2 回	36 人

【現代的課題】

事業名	回数	参加者数
学習室開放事業	347 回	4,155 人
読書推進学習交流「大人読書開放」	347 回	807 人
リアル防災講座 ペットの防災	1 回	22 人
アイリッシュハープと絵本のクリスマス・ファミリーコンサート	1 回	82 人
やまとみらいまつり おすすめ絵本の POP をつくろう！	1 回	11 人
やまとみらいまつり オリジナル缶バッジのワークショップ	1 回	28 人
スタジオで演奏してみませんか	24 回	340 人

e) 地域や利用者と密接に連携した講座の開催

地域への社会教育活動を行っている団体と協力して事業を行いました。

《実施報告》

区分	令和 6 年度
----	---------

	実施事業数／実施回数
北部文化・スポーツ・子育てセンター	4 事業／19 回
つきみ野学習センター	4 事業／64 回
桜丘学習センター	1 事業／10 回
渋谷学習センター	7 事業／76 回

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

令和6年度は、中央林間連合自治会と融合を図り、地域の秋祭りに合わせて中央林間図書館とともに事業を展開しました。

事業名	回数	参加者数
おはなしのひろば「ポプラ」	10 回	139 人
あそび塾Ⅱ	6 回	156 人
秋の夜長に楽しむ影絵 浦島太郎 (中央林間連合自治会秋祭りに合わせて開催)	1 回	101 人
あわてんぼうのクリスマス会	2 回	125 人

【つきみ野学習センター】

子育てサポートネットは、地域のボランティアの方にご協力いただき実施しました。地域の子育て中の親子の情報交換・交流の場となると同時に、乳幼児期事業に参加するきっかけになりました。

令和6年度は、つきみ野自治会まちづくり委員会と連携を図り、春と秋に花壇に花を植える事業を展開し自治会と市民の皆様、当館スタッフの交流の場となりました。

事業名	回数	参加者数
子育てサポートネット ほっと☆のびのび	39 回	496 人
子育てサポートネット おはなしぽっこ	12 回	74 人
子育てサポートネット 絵本でわはびねす	11 回	73 人
季節のイベント 色とりどりの花いっぱい大作戦！	2 回	9 人

【桜丘学習センター】

当館に登録の社会教育関係団体「双和会」の会員にて「手話講座」を実施し、手話を習得するとともに、聴覚に障がいを持った方を取り巻く環境への配慮を伝えました。

事業名	回数	参加者数
はじめての手話入門講座	10 回	178 人

【渋谷学習センター】

大和将棋の会と連携し、小学生対象の将棋大会を実施し、将棋の対局を通して、世代を超えた交流の場を提供しました。

大和市国際化協会、NPO 法人多文化共生ボランティア団体 KAM と連携し、日本語を母国語としない人が、不安を抱えることなく生活でき、子どもが子どもらしく生

きるられるよう、持続的に彼らを地域の人・ボランティアと共に支援しました。

事業名	回数	参加者数
チャレンジキッズ 将棋王	10 回	163 人
みんなのにほんごのへや・おとな	33 回	341 人
みんなのにほんごのへや・こども	20 回	102 人
みんなのにほんごのへや 夏休み子ども教室	3 回	31 人
みんなのにほんごのへや 学習支援者セミナー	1 回	22 人
日本語教室親子体験&クリスマス会	1 回	54 人
日本語ボランティア養成講座	8 回	220 人

f) 専門性のある講座の開催

学識経験者や有識者、専門家など優れた知見を有する方々を講師に向かえ、市民の皆様がより専門的な知識を学ぶことができる場を「やまとみらいカレッジ」として開催しました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和6年度 実施事業数／実施回数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3 事業／15 日

事業名	回数	参加者数
地政学の視点から見る世界	5 回	288 人 サテライト 45 人
「きっかけをつかめなかったあなた」のための『源氏物語』入門 ～「優雅だけれど、赤裸々な世界」へのいざない～	5 回	317 人 サテライト 43 人
図書館と大和市～私たちがつくり、育てる図書館～	5 回	148 人

各地区学習センター

区分	令和6年度 実施事業数／実施回数
専門性のある講座 (やまとみらいカレッジ)	3 事業／15 日

学習センター	事業名	回数	参加者数
つきみ野学習センター	日本を彩る容～日本文化の深淵に迫る	5 回	159 人 サテライト 22 人
桜丘学習センター	絵解き地獄絵図～活気あふれる地獄の世界	5 回	110 人 サテライト 30 人
渋谷学習センター	エジプト考古学 エジプトの墓を探る	5 回	266 人 サテライト 53 人

g) やまとこども市民大学の開催

子どもが自らの将来や職業選択への興味・関心をかきたてる事業として開催しま

した。現在ある仕事にとどまらず、これからの社会で求められる可能性のある職業も取り上げ、未来に向けた視野を広げる内容としました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和6年度 実施事業数／実施k氏数
やまとこども市民大学	2事業／3回

事業名	回数	参加者数
北極冒険家と話そう・聞こう ○○のこと	1回	23人
未来の仕事をさぐる！ドローンパイロット	2回	15人

h) 生涯学習関連事業の開催

生涯各期や現代的課題など市の指定事業では実施ができない、市民の関心が高い講座を数多く実施し、市民の学びのきっかけを作ることに力を入れました。

《実施報告》

生涯学習センター

区分	令和6年度 実施事業数／実施回数
生涯学習関連事業	4事業／10回

事業名	回数	参加者数
シリウスボードゲームクラブ	6回	103人
やまとみらいまつり「未来へつなぐ玉手箱」	1回	66人
指先で描く魔法！グランデーションで魅せるチョークアート	2回	30人
春休み特別イベント 砂の中に埋まっている天然石をみつけだそう！	1回	30人

i) 自主事業

市民が文化や芸術に触れ、深く学ぶことで、自らの人生をより豊かにする学習機会を提供する事業を開催しました。

《実施報告》

自主事業

渋谷学習センター

事業名	回数	参加者数
演劇ワークショップ 「あなた」と「わたし」 「だれか」と「だれか」に	4回	34人

Yamato Premium Seminar

生涯学習センター

事業名	回数	参加者数
ピアノの名曲とその作曲家たち	2 回	100 人
初めての陶芸 土をこねて自分の皿を作る	2 回	29 人
楽しい水墨画 季節の画題を「すみえ」で描く	6 回	69 人
美術館をめぐる旅 part7～9	12 回	503 人
江戸のくずし字入門第二弾!!てらこやの教科書『江戸方角』を読む	6 回	173 人
萩原健太が語る 大瀧詠一「EACH TIME」の魔法	1 回	47 人
萩原健太が語る Precious Days 竹内まりやの世界	2 回	78 人
古文書で知る地震、洪水、噴火	2 回	83 人
気楽に楽しむ水彩スケッチ講座 静物と神奈川の風景を描く	6 回	130 人
お国で巡るクラシック音楽 英国・ロシア編	2 回	80 人

北部文化・スポーツ・子育てセンター

事業名	回数	参加者数
カンタン、素敵にえんぴつスケッチ	6 回	106 人

つきみ野学習センター

事業名	回数	参加者数
レクチャーコンサート フランス音楽の光彩～ドビュッシーを囲んで～	1 回	91 人
水墨画の誘い 季節の画題を「すみえ」で描く	6 回	85 人

桜丘学習センター

事業名	回数	参加者数
初めてのワクワク電動ロクロ体験！	2 回	32 人

渋谷学習センター

事業名	回数	参加者数
江戸楽アカデミー第6弾 赤穂事件と忠臣蔵	2 回	65 人
江戸楽アカデミー第7弾 江戸の名所と美味しいもの	2 回	65 人
江戸楽アカデミー 第8弾 江戸城	1 回	44 人
江戸楽アカデミー 第9弾 食の歳時記	2 回	51 人
江戸楽アカデミー 第10弾 江戸の白浪・怪盗列伝	2 回	37 人
江戸楽アカデミー 第11弾 江戸百景 花のお江戸の名所案内 其の一	2 回	62 人
江戸楽アカデミー 第12弾 江戸のメディア王「薦重」 薦屋重三郎	3 回	61 人
江戸楽アカデミー 第13弾 吉原 ファッション流行の発信地	1 回	32 人
江戸楽アカデミー 第14弾 食の歳時記 春の章	1 回	34 人
ピアノとクラリネットでめぐるパリ音楽紀行	1 回	198 人
水墨画への誘い～季節の画題を「すみえ」で描く～	6 回	72 人

j) 子どもたちの居場所作り

子どもたちが安心して安全に過ごせ、いろいろな人たちとのコミュニケーション能力を高めることができる、家庭でもない、学校でもない、子どもの第三の居場所の提供を行いました。

《実施報告》

施設名	事業名	内容
-----	-----	----

生涯学習センター	まんがLiving	まんがを通した共感体験を通した居場所作り。関係機関との連携も行った。
生涯学習センター	シリウスボードゲームクラブ	地域交流と居場所づくりの観点から、小学生を中心に年齢制限を設けず、多世代が楽しめるボードゲームを実施した。
北部文化・スポーツ・子育てセンター	放課後ルーム	地域の小学生が学校以外で過ごす場所として、遊びや工作などを通して、学校や学年を超えて交流を支援した。
つきみ野学習センター	自由学習室	会話を可とした学習室の開放。友達同士が相談しながら宿題をしたり、子どもたちの居場所と交流の場所を提供した。
つきみ野学習センター	放課後 将棋講座	小学生対象の初心者向け将棋講座。
つきみ野学習センター	あつまれ！つきみ野こどもクラブ	ロビーや会議室を開放し、子どもたちが学びや遊びを通して交流する場を提供した。
渋谷学習センター	キッズルーム	遊びの提案を通して、子どもたちの交流を促進した。

k) 生涯学習情報等の提供

事業計画にのっとり行いました。

l) やまと生涯学習ねっとわあく制度の運用

事業計画にのっとり行いました。以下の講座では、登録講師の活用も行い、地元の人材活用と制度の活性化に取り組みました。

【生涯学習センター】

講座名	実施日	講師名
小学生なつやすみ体験 ①素直な気持ちを伝える、聞く ②キッズヨガをやってみよう ③英語で歌おうミュージカルソング ④トールペイントでつくる壁かけ	7/30, 8/2, 8/3(2講座)	吉岡 雅子 荻窪 智美 荒谷 留架 柳沢 晴美
子育て応援オンライン講座 「楽しく運動不足を解消！ふれあい親子ヨガ」	2/17	荻窪 智美

【つきみ野学習センター】

講座名	実施日	講師名
花咲くガーデニングライフ～フラワーサポーター養成講座	6/25, 7/23, 10/22, 11/26	小山 阿希代
フレイルを予防する健康体操	4/15, 5/20, 6/17, 7/15, 8/19, 9/16, 10/21, 11/18, 12/16, 1/20, 2/17, 3/17	岡原 隆之介
はじめて囲碁を打ってみよう！	12/7・21	中武 大貴
つきみ野学習センターまつりイベント部会	11/9・10	赤部 隆子

m) どこでも講座の調整業務

事業計画にのっとり行いました。

n) 生涯学習情報誌の発行業務

事業計画にのっとり行いました。

o) 団体サークル化

講座の受講を通じて同じ趣味や関心を持つ人々をつなげ、主体的に学習が続き、あらたな地域とのつながりをつくるために、サークル化をサポートし市民の継続的な学習を支援しました。

【生涯学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
令和6年4-6月	ともに学ぶともに育む 中国語入門講座	山櫻花

【つきみ野学習センター】

講座実施月	講座名	新規サークル名
令和6年4-9月	フレイルを予防する健康体操	白百合の会
令和6年4-9月	放課後将棋講座	将棋サークル
令和6年12月	はじめて囲碁を打ってみよう！	Go！Go！囲碁サークル

ウ) 地域活性化事業

市民が主体となって行う事業をサポートすることで、地域の文化を育む「学びの循環」に力を入れました。

a) 生涯学習センターまつりの開催

団体にとってこれまでの学習成果を発表する場である「学習センターまつり」を以下のとおり実施しました。

i) 生涯学習センター

- ・開催日：令和7年2月15日（土）、16日（日）
- ・ところ：シリウス1階サブホール、ギャラリー、6階会議室等
- ・参加団体：24団体（展示：16団体、発表：8団体）
- ・参加者数：2,215人

ii) 北部文化・スポーツ・子育てセンター

- ・開催日：令和6年10月26日（土）、27日（日）
- ・ところ：ポラリス、Room1,2,3,7,8、親子スペース、アリーナ
- ・参加団体：18団体
- ・参加者数：2,707人

iii) つきみ野学習センター

- ・開催日：令和6年11月9日（土）、10日（日）
- ・ところ：つきみ野学習センター全館
- ・参加団体：33団体
- ・参加者数：3,277人

iv) 桜丘学習センター

- ・開催日：令和6年11月16日（土）、17日（日）
- ・ところ：桜丘学習センター全館
- ・参加団体：22団体

- ・参加者数：1,105 人
- v) 渋谷学習センター
 - ・開催日：令和6年10月19日（土）、20日（日）
 - ・ところ：渋谷学習センター全館
 - ・参加団体：28 団体
 - ・参加者数：1,570 人
- b) 地域文化振興事業の開催
 - i) やまと芝居小屋
 - ・開催日：令和7年3月9日（日）
 - ・ところ：渋谷学習センター多目的ホール
(主催は北部文化・スポーツ・子育てセンター)
 - ・参加団体：7 団体
 - ・参加者数：170 人
 - ・演劇上演の設備が充実している渋谷学習センター多目的ホールを利用して成果発表を行った。
 - ii) あわてんぼうのクリスマス会
 - ・開催日：令和6年12月8日、14日
 - ・ところ：北部文化・スポーツ・子育てセンター
 - ・参加団体：団体（人形劇団クッキー、ベル・アデルコ）
 - ・参加者人数：125 人
 - ・地域で活動を行なう、サークル、団体に協力していただき、団体活動の発表場も提供した。
 - iii) アマチュア・クラシックコンサート
 - 【1】第32回アマチュア・クラシックコンサート つきみ野公演
 - ・開催日：令和6年10月27日（日）
 - ・ところ：つきみ野学習センター 203 集会室
 - ・参加者：170 名
 - ・大和市近在のアマチュア演奏家により、実行委員会形式にて開催した。
 - ・出演者、来場者いずれも幅広い年齢層が集まった。
 - 【2】アマチュア・クラシックコンサート
 - ・開催日：令和6年8月25日（日）
 - ・ところ：渋谷学習センター 2 階多目的ホール
 - ・参加者：144 人
 - ・出演者、来場者いずれも幅広い年齢層が集まった。
 - iv) さくらの音楽会
 - アイリッシュ音楽で癒しのひとときを
 - ・開催日：令和6年10月19日（土）

- ・ ところ：桜丘学習センター
- ・ 出演者：na ba na（ナバナ）
須貝知世（アイリッシュフルート）
中藤有花（フィドル）
梅田千晶（アイリッシュハーブ）
- ・ 参加者数：59 人
- ・ アイリッシュ音楽と楽しいトークで癒しの空間・楽しい時間を提供することができた。

v) 渋谷素人演芸大会

- ・ 開催日：令和 7 年 3 月 2 日（日）
- ・ ところ：渋谷学習センター 2 階多目的ホール
- ・ 実行委員：24 人
- ・ 出演者：127 人
- ・ 参加者：245 人
- ・ 公募により集まった実行委員と共に幅広い演目を観覧できる機会を提供することができた。

vi) 湘南軽音楽フェスタ

- ・ 開催日：令和 6 年 9 月 15 日（日）
- ・ ところ：渋谷学習センター 2 階多目的ホール
- ・ 参加者：145 名
- ・ 出演者、来場者いずれも幅広い年齢層が集まる機会となり、多世代交流が育まれた。

vii) 自治会ミニ・コンサート

つきみ野自治会ミニ・コンサート（2024 MOONLIGHT LOVE concert）

- ・ 開催日：令和 6 年 12 月 15 日（日）
- ・ ところ：つきみ野学習センター 203 集会室
- ・ 参加者：188 名
- ・ 地域支援の一環として、つきみ野自治会が地域の方へ向けて開催
- ・ 出演等：早稲田真里、皆上晶子、箕輪梨絵

c) 利用者懇談会等の開催

事業計画にのっとり行いました。

施設名	日付	参加者数	内容
生涯学習センター	6 月 29 日	24 団体 37 名	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
	2 月 15 日 16 日	6 名	利用登録説明会
	3 月 9 日	実施せず	貸出倉庫調整会 ※調整不要のため実施せず
北部文化・スポーツ・子育てセンター	3 月 16 日	3 団体 3 名	利用者懇談会 生涯学習推進説明会

	3月16日	0人	利用登録説明会
つきみ野学習センター	4月13日	27団体 36人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
		22団体 30人	団体サークル倉庫会議
	3月9日	1人	利用登録説明会・施設見学会
桜丘学習センター	11月17日	3名	施設見学・利用登録説明会
	3月9日	26団体 29名	利用者懇談会 生涯学習推進説明会
		13団体 15名	団体サークル倉庫会議
渋谷学習センター	4月20日	15団体 20人	利用者懇談会 生涯学習推進説明会 ※貸出倉庫調整会は調整不要となったため中止

d) 生涯学習の推進に寄与する団体支援業務

学習センターの利用団体が、学習成果の市民への還元を目的に事業を行うことを支援する「まなびの輪支援事業」を積極的に行い、「学びの循環」を推進しました。

【生涯学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
書道の魅力と楽しさと	大和市書道連盟	1回	81人
やまと子どもミュージカル体験ワークショップ	やまと子どもミュージカル	2回	23人
日本の伝統文化詩吟の体験会(春編)	大和吟好会	3回	9人
日本の伝統文化詩吟の体験会(秋編)	大和吟好会	3回	36人
日本の伝統文化詩吟の体験会(冬編)	大和吟好会	3回	30人
玉手箱の謎	生涯教育研究会 L I E	6回	100人
春季講演会 「軍拡の時代に宇都宮徳馬の軍縮論の意義を考える」	大和地区日中友好協会	1回	31人
歌ってリハビリ	生涯教育研究会 L I E	中止	中止
談話会「共に語ろう 日本と中国」	大和地区日中友好協会	5回	98人
一日詩吟体験教室	大和市詩吟連盟	1回	8人
小学生向け雅楽体験	大和市雅楽協会	4回	12人
太極拳体験会	楊名時太極拳大和教室	1回	4人
第6回人物デッサン会	大和美術協会	1回	19人
勝司会おさらい会及びワークショップ体験会	勝司会大和支部	1回	4人
知的障がい者ガイドヘルパー養成研修	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ想	3回	14人
源氏物語光源氏横笛体験スクール	大和市雅楽協会	6回	0人

「光る君へ」いぎなう 雅楽ミニ公演	大和市雅楽協会	7 回	8 人
やまとで源氏物語を読む会 無料体験講習会	やまとで源氏を読む会	1 回	8 人

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

事業名	団体名	回数	参加者数
社交ダンスフェスティバル・ダンス交流会・講習会	レッツゴーダンス	1 回	19 人
詩吟の体験研修会	柴岳会大和	1 回	17 人
聖徳太子信仰の成立	生涯教育研究会・LIE	6 回	60 人
スクエアダンス無料体験講習会	MERRY PIONEER	2 回	2 人
みんなで踊ろうフォークダンス	ラ・ヴィオレッタ	1 回	12 人
ポラリス健康体操の会 体験会	ポラリス健康体操	1 回	12 人

【つきみ野学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
レクダンス体験講習会	レクダンス「小道」	1 回	13 人
野鳥の木彫りの体験教室	とりつくろう会	1 回	20 人
卓球体験講習会	スパーク大和卓球クラブ	1 回	4 人
卓球を楽しむ会 スパロウズの みんなと一緒に汗を流しましょ う	スパロウズ卓球クラブ	1 回	5 人
第 3 回つきみ野落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1 回	48 人
健康体操体験会	さくら草	1 回	1 人
ファミリーコンサート	生涯教育研究会 LIE	1 回	70 人
若葉の会 健康づくり体操体験 講習会	若葉の会	1 回	4 人
のびのびストレッチ体験講習会	のびのびストレッチ	3 回	7 人
絵画展・体験コーナー	彩の会つきみ野	6 回	75 人
楽しく歌い頭と体を鍛えよう♪ 第 2 弾！	女声合唱ルビー	2 回	44 人
身も心も健康に気功体験講習会	つきみ野気功サークル	1 回	4 人
さわやか気功クラブ無料体験講 座	さわやか気功クラブ	1 回	4 人
のびのび倶楽部体験講習会	のびのび倶楽部	3 回	6 人
中国語体験講座	ニイハオつきみ野	1 回	9 人
社交ダンスの集い	中央林間スポーツダンスク ラブ	1 回	23 人
春休み和楽器ひろば	さくら箏の会	1 回	10 人

【桜丘学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
第 4 回桜丘落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1 回	82 人
第 7 回油絵体験 (みんなで描く一枚の絵)	蕾の会	7 回	30 人
さつき句会体験会	さつき句会	3 回	12 人
10 周年記念歌声 みんなで歌おう	音楽サークル 「うたごえサロンやまと」	1 回	72 人
浴衣の着つけ講習会	雅の会	1 回	4 人

「コグニサイズ」体験講習会	桜ヶ丘コグニサイズサークル	2 回	20 人
影絵を作って 演じてみよう	影絵グループ 夢	1 回	5 人
社交ダンス 初心者講習会	大和市ダンススポーツアマチュア選手会	4 回	38 人
社交ダンス無料講習会	アマポーラ	4 回	63 人
句会体験会	大和市俳句協会	1 回	4 人
ミシンを使って小物を作ろう	ぬうぬうくらぶ	1 回	7 人
社交ダンス初心者講習会	大和 S D C	4 回	18 人
さわやか社交ダンス無料講習会・発表パーティー	さわやかダンスクラブ	5 回	66 人
体験入会（写真）	写団さくら会	3 回	1 人

【渋谷学習センター】

事業名	団体名	回数	参加者数
発声講座	ピーノ・デ・ボス	1 回	20 人
第 3 回渋谷落語演芸会	大和落語演芸倶楽部	1 回	132 人
おやこ★クリスマス★コンサート	光中地区家庭・地域教育活性化会議	1 回	21 人
地域子育て連絡会 地域子育て講座「アイアイ」	社会福祉法人寿会 渋谷保育園	2 回	80 人
広げよう！チャリティー歌声の“わ”被災地・能登にエールを！！	音楽サークル「うたごえサロンやまと」	1 回	157 人
X マス&忘年歌声の会	音楽クラブ	1 回	71 人
第 11 回 IKOZA 活動発表会	やまと生涯学習ねっとわーくボランティア講師の会	2 回	357 人
音楽 TOMODACHI フェス	リーコーダーアンサンブル「カノン」	1 回	230 人
春のミニ・コンサート&みんなで楽しく歌おう	生涯教育研究会 LIE	2 回	136 人
YSM チアダンス・ヒップホップ交流会	NPO 法人やまとスポーツマネジメント	1 回	533 人
切り絵作品展とドットペインティングの体験	切り絵&灯り工房「やまと」	3 回	199 人
ひょうたんランプとエッグアート作品展と製作体験	切り絵&灯り工房「やまと」	4 回	466 人
しゅや寄席	やまと噺の会	1 回	156 人
親子ミュージカル鑑賞会	社会福祉法人寿会 渋谷保育園	1 回	188 人
第 21 回健康と文化のつどい	神奈川北中医療生協 大和支部	1 回	93 人
社交ダンス初心者講習会	渋谷ダンススクール	2 回	0 人

e) 周年事業

11 月 3 日にシリウスの周年祭りを行いました。午前中のオープニングセレモニーに引き続き、生涯学習センターでは「世界とつながろう～おすすめの英語絵本～」を実施した。地区館では図書館と協力し「おすすめ絵本の POP をつくろう！ワークショップ」のほか「オリジナル缶バッジのワークショップ」を実施しました。

北部文化・スポーツ・子育てセンターは、夏に周年祭りとして、全世代が参加で

きるイベント、講座を企画しました。やまとみらい構成企業の協力等、4事業を実施しました。

【北部文化・スポーツ・子育てセンター 周年イベント】

事業名	回数	参加者数
屋内こども広場がやってくる	1回	83人
聖セシリア女子中学校・高等学校 ギター・マンドリン部演奏会	1回	72人
えほんといっしょアートなおえかきワークショップ	1回	22人
手づくりランプのほのかな明かりで過ごす 冬のリトリートヨガ	1回	12人

f) 地域の団体との協力

講座を実施するにあたり、地域で活動する団体・サークルと協力して開催しました。

【生涯学習センター】

- ・大和市国際化協会
- ・大和シルフィード
- ・大和市音楽家協会
- ・県立大和高等学校

【北部文化・スポーツ・子育てセンター】

- ・NPO 法人ワーカーズコレクティブ・チャイルドケア
- ・おはなしグループ「ポプラ」
- ・ベル・アコルデ
- ・中央林間連合自治会
- ・中央林間地区社会福祉協議会
- ・人形劇団「クッキー」
- ・影絵グループ夢

【つきみ野学習センター】

- ・つきみ野自治会まちづくり委員会
- ・ほっと☆のびのび
- ・おはなしぼっこ
- ・絵本で♡はびねす

【桜丘学習センター】

- ・大和市手話サークル双和会
- ・トイドック やまと
- ・やまと絵本の会ソレイユ

【渋谷学習センター】

- ・サークルしゃぼんだま
- ・よみよみの会

- ・ Story Time（ストーリータイム）
- ・ 大和将棋の会

2) 実施体制

事業計画にのっとり行いました。

④ 利用規則

【桜丘学習センター】

- ・ 保育室の閉館時間を 16:00 から 17:00 に延長
- ・ 料金支払受付時間を 17:00 から 20:00 に変更
- ・ 1 階出入口閉鎖時間を 17:00 から 17:30 に変更

【渋谷学習センター】

- ・ 保育室の閉館時間を 16:00 から 17:00 に延長
- ・ 料金支払受付時間を 17:00 から 20:00 に変更

(4) 屋内こども広場関連サービス
(対象施設：大和市屋内こども広場)

① 基本方針

大和市屋内こども広場(以下、こども広場という)は、第二期大和市子ども・子育て支援事業計画「ハートンプラン」の基本理念を促進するため、「すべての子どもの健やかな成長を支えあうまち・やまと～地域と共に安心して子育て・親育ち～」の実現を目指し運営にあたりました。

また、妊娠・出産、育児まで切れ目のない支援を行うことで、安心してこどもを産み育てることができる環境、及び地域や行政担当機関とも連携し皆様に見守られながら健やかに育つ環境づくりに取り組んでまいりました。大和市民を中心に、地域の中で愛されるこども広場となり、皆が豊かに育ちあうことのできる居場所を提供することができました。

○すべてのこどもの生きる力を育む環境を提供します

こどもたちが成長に必要な知力や体力を養い、日々健康に過ごすために、思い切り遊ぶことのできる環境を提供することができました。

○配慮を必要とするこども・家庭への支援を強化します

障がい、ひとり親、虐待など配慮が必要な家庭への支援に取り組みました。また育児相談がしやすい環境、日本語を母国語としない方々も利用しやすい環境を整えました。

○親育ち・地域の子育て力を育む環境を提供します

子育て世代の親とこどもが集うことで、親子の交流に加えて、親同士、こども同士の交流を促進できる機会を多く提供できました。

○市民同士がつながれる、活躍できる場を提供します

子育てを通して他の家族ともつながりが持てるよう、環境を整えました。また、市民講師によるイベントを開催し、市民自らが理想を求め実現する場を提供することができました。

○安心・安全にご利用いただける事業運営を行います

利用者が安心して、こども広場を利用し、こどもを預けられる環境を整えました。また、避難訓練・研修を通して、安心・安全に利用いただけるサービスの提供にも努めました。

② サービス提供に関する取組

受付業務・プレイリーダー・保育士各部門における連携を軸に、利用者一人ひとりに寄り添った行動を心がけ、「また来たい」「利用したい」と感じてもらえる施設を目指して接遇強化に取り組みました。

1) 利用者との日常のコミュニケーション

ア) 親しみやすい雰囲気

日常のあそび場であり、子育ての場であるこども広場が、気軽に立ち寄れて、繰り

返し利用してもらえよう、親しみやすい雰囲気づくりに努めました。スタッフのホスピタリティ溢れる親身な対応により、広場全体に笑顔あふれるコミュニティが形成されました。

イ) 利用者に寄り添った親身な行動と声掛け

常に子どもたちや保護者に目を向け行動を観察することで、わずかな変化も敏感に察知するよう努めました。そうすることで、その場に相応しい親身な行動と声掛けを行うことができました。

ウ) コミュニケーションを活性化

親子や子ども同士、また親同士の交流を促進するため、スタッフが積極的に声を掛け、一緒に活動できるあそびやイベントを提供しました。これにより、子ども広場内のコミュニケーションを活性化され、計画どおりの成果をあげることができました。

エ) 利用者への配慮（居心地の良い共生空間）

障がいをお持ちの方やひとり親、また日本語を母国語としない方々など、多様なライフスタイルをお持ちの方々に寄り添い、どなたでも安心・快適に過ごせる施設を目指しました。また、サービスの質と利便性の向上を目指し、利用者個々のニーズに合わせた充実した生活が享受できるよう努めました。

2) 利用者ニーズの把握及び実現策

ア) 利用者アンケートの実施

利用者との対話や講座後のアンケート調査から得られる貴重な情報やご意見などを参考に、魅力的な企画の実施、サービスの向上に取り組みました。

3) 情報の発信

こども広場のサービス案内やイベント情報、活動報告などを通じて、利用者に有益な情報を継続的かつ効果的に発信しました。認知度・知名度向上と特定のターゲット層に向けたアプローチを、オフライン・オンラインの伝達ツールを巧みに組み合わせて、わかりやすく魅力的なメッセージを発信しました。

ア) イベントカレンダーの作成

毎月、こども広場で開催されるイベントや講座の内容をわかりやすく整理したイベントカレンダーを作成し、シリウス内での掲示するほかホームページへの公開も行い、利用者に魅力的な情報を発信し続けました。どこでも手軽にイベント情報を確認できる環境を整え、こども広場の多彩なイベントや講座に簡単にアクセスできる仕組みを築きました。

イ) オフラインの強化（チラシの発行・配架）

こども広場のイベント・講座情報やサービス案内などをわかりやすく伝える手段として、各種情報誌への掲載やチラシの配架など、適切なタイミングかつ配架場所を精査しながら定期的に制作・発行しました。施設内での展示はもちろん、市役所や親子

が集まる市内の公共施設などでの配架も行い、情報を求める利用者に効果的な発信を実施しました。

ウ) オンラインの強化（ホームページの充実・SNS との連携）

ホームページでは、こども広場のイベント情報や活動報告など、常に最新情報をお届けし、利用者にとってわかりやすく伝わりやすい情報を提供しました。また、SNS との連携により様々なユーザー層と繋がりを持ち、こども広場の情報を拡散することで新規顧客の開拓に努めました。

③ 事業報告

1) 屋内公園事業

ちびっこ広場・げんきっこ広場は、こどもたちがのびのびとあそびながら成長できる「日常のあそび場」「子育ての場」として、あそびを通じてこどもの成長を支えてきました。また、様々なイベントを開催し、地域コミュニティの活性化に努めました。これにより、地域全体が子育てと共に成長し、こども広場が地域社会において重要な存在となることを目指しました。

ア) 私たちが提案するあそび場

○自由で充実したあそび環境を提供

季節や天候に左右されない屋内で、デザイン性に優れた多彩なあそび道具を活用し、こどもたちが自由に身体を動かすことのできる環境を整えました。創意工夫に富んだあそび環境を提供することで、利用者の満足度向上に取り組みました。

○地域コミュニティの中心となる広場の提供

初対面のこどもたちがあそびを通じて友達になり、同時に親同士も交流し、自然な形で人と人とのつながりが広がるような環境を構築することで、こども広場が地域の中心的な結びつきとなるよう努めました。

○親同士のコミュニケーションや情報交換を通し子育て支援の場を提供

定期的に様々な親子向けのイベントを開催し、親同士が気軽にコミュニケーションを取りながら子育てに関する情報を交換できる場として、ちびっこ広場・げんきっこ広場を積極的に活用しました。

イ) あそび道具の選定基準

私たちが提案するのはこどもの成長に欠かすことのできない生活のための道具です。あそびの中でこどもが主体となり、工夫次第で様々なあそびへと発展するものこそふさわしいと考え、あそび道具を世界中から厳選し、ちびっこ広場・げんきっこ広場に導入しました。

大きく分けて以下の4種類の遊具を選定しました。

○想像力や工夫する力などを育む遊具

○全身を使ってあそべる遊具(体力づくりやバランス感覚の養成)

○感覚を刺激し成長発達を促す遊具

○創造力を養うとともに他の利用者との交流を通じ社会性を育む遊具

ウ) げんきっこ広場・ちびっこ広場のイベント

げんきっこ広場とちびっこ広場では、プレイリーダーや保育士が中心となって、こどもの発育や創造性を促すイベント、親子が一緒になって楽しめるイベントなど、様々な魅力あふれる企画イベントを実施し、地域コミュニティを結ぶ輪を拡大し、リピーターを囲い込むことを目指しました。

げんきっこ広場とちびっこ広場でのイベントの一例

【企画イベント（季節・記念日・体験型・参加型など）】

事業名	内容
あそん de 絆（げんきっこ広場へおさんぽ）（げんきっこ広場）	普段ご利用できない3歳未満のこどもも、げんきっこ広場での遊びを体験できるイベント。毎週水曜日に開催した。（6-8月は開催なし）
おたんじょうかい（げんきっこ広場）	その月に誕生日を迎えるこどもたちを対象に、毎月最終日曜日に開催した。遊具で大型ケーキの作成や、手作りバースデークラウンの贈呈など、利用者参加型のイベントとして実施。
サプライズイベント（げんきっこ/ちびっこ共通）	場内の雰囲気や利用者状況によって開催する普段とは違った遊びを皆で楽しむイベント。にじみ絵やボールプール内での的当てゲームなどを開催した。

【地域連携事業：企画イベント（季節・記念日・体験型・参加型など）】

事業名	内容
屋内こども広場に「ばんぱくとあんな」がやってくる（げんきっこ/ちびっこ広場共通）	音楽と絵本を融合した新感覚ライブで活躍中のアーティスト「ばんぱくとあんな」による、絵本の中に身を置くような独創的で、こどもの感受性をくすぐる新しいエンターテインメントショーを実施した。

【団体利用】

受入日	対象
平日：火～金曜日の第1～5クール *ただし繁忙期は除く	こども10名以上からご利用できる団体プラン。保育園や幼稚園など法人格を有した施設又は任意団体が対象。令和6年度は9団体の受入れがあった。

*イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

げんきっこ広場・ちびっこ広場 年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
おたんじょうびかい（げんきっこ広場）	12回	317人
季節イベント（げんきっこ広場）	10回	3,587人
サプライズイベント（げんきっこ広場）	536回	7,579人
あそん de 絆（げんきっこ広場）	33回	737人

団体利用 Day（げんきっこ広場）	9 回	218 人
ほっこりタイム（ちびっこ広場）	55 回	998 人
サプライズイベント（ちびっこ広場）	12 回	280 人
季節イベント（ちびっこ広場）	4 回	148 人

2) 保育施設事業

ア) 幼児預かり事業(保育室)

満 1 歳以上の未就学児童の預かり保育を実施しました。保護者がシリウス館内を利用している間だけでなく、気持ちのリフレッシュや通院、自分磨きの時間作りやテレワークなど、館内以外での施設等を利用される間もお預かりし、子育て中の親たちが毎日イキイキとした生活を送りながら子育てできる環境を整えました。

○こどもが「また来たい」と思える保育室を目指します

音楽や読み聞かせ、手作りおもちゃやシール貼りなど、こどもが楽しめるような雰囲気を作り出し、「また来たい」と感じてもらえる保育室を実現しました。

○ホスピタリティあふれるコミュニケーション

お迎え時には保育中の出来事と保護者への子育て応援メッセージを添えてレポートをお渡しし、「また利用したい」と感じていただけるよう、細やかな対応を心掛けました。

【サービスの流れ】

事業計画にのっとり行いました。

イ) 幼児預かり事業のイベント

こどもの成長を実感できるイベントや同世代のこどもを抱える親の交流を深めるイベントなど、多彩で魅力的なイベントを通じて、子育て中の親たちをサポートしました。

幼児預かり事業の講座の一例

【育児サポート】

事業名	内容
たんシリーズ講座 ・まめたん（生後 1～4 ヶ月） ・ころたん（生後 5～8 ヶ月） ・とこたん（生後 9～12 ヶ月）	成長著しい乳幼児に対して、月齢に合わせた手遊びやリトミックのほか、保育士による日々の悩みや不安を取り除く相談窓口的な要素を盛り込んだ育児サポート講座を毎月開催した。
パパとママとあそぼう	父親の育児への興味や参加意欲を高めることを目的に、絵本の読み聞かせや手あそびなどを通じてこどもとの絆を深めるだけでなく、楽しく子育てに参加するきっかけを提供した。

* イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

幼児預かり事業 年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
たんシリーズイベント	35 回	592 人
パパとママとあそぼう	6 回	105 人
からだをうごかしてあそぼう	11 回	214 人
子育てママの交流会	6 回	76 人

ウ) 育児相談事業(相談室)

すべての子育て家庭を対象とした育児に関する不安や悩みの相談窓口として機能するよう、経験豊富な保育士(有資格者)や子育て支援員により専門的なアドバイスができる体制を整えました。子育てに不安や悩みを抱える方々に、気軽に相談できる場を提供することで、一人で抱え込むことを防ぎ、疑問や不安を解消することにより、もっと子育てを楽しんでもらうことを目的としています。

また、大和市が定期的に行う保健師等による健康相談、管理栄養士等による栄養相談の業務支援を行い、日常的に保健所や児童相談所などの行政機関と連携し、良好な関係を築きました。

育児相談事業の一例 【やまとみらい間での融合事業：育児サポート】

事業名	内容
出張版 大きくなったかな？	大和市立図書館主催イベント「おはなし会」終了後に、乳幼児を対象とした出張版の身体測定を実施した。

育児相談事業 年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
出張版 大きくなったかな？	12 回	174 人

エ) 多目的室運営事業(多目的室)

芸術文化ホール及び生涯学習センターを利用するイベントの主催者が、顧客サービスの一環として託児付きのイベントを開催する際に、託児スペースとして部屋を貸し出し、子育て家庭が文化芸術や生涯学習活動に安心して取り組めるように支援しました。また、大和市が実施する子育て支援事業に協力するほか、主催者としてこどもの知育や創造性・好奇心を高めることを目的とした教室、また子育て世代の親子の交流や子育て中の親のリフレッシュを目的としたイベント・講座など企画・実施し、多彩なプログラムを通じて子育て支援を行いました。

多目的運営事業（多目的室）の講座の一例

【親子向け講座】

事業名	内容
親子でものづくり教室	楽しく手軽に作れるものをテーマに、身近な素材を使用して工作するものづくり教室を開催。こどもの創造性や好奇心を高めるきっかけとなる場を提供した。

【育児サポート】

事業名	内容
子育てハッピー講座	子育て中の親を対象に、離乳食やお箸の使い方、トイレトレーニングなど、育児に関する様々な悩みを解消することを目的とした育児サポート講座を開催した。

【保護者向け講座】

事業名	内容
屋内こども広場のフィットネス	保護者のリフレッシュを目的に、フィットネス要素を取り入れた「トレーニングヨガ」や、ラテンのリズムに合わせて踊る「ラテン♪エクササイズ」などを開催した。身体も心もリフレッシュできる人気のイベントとなった。

【やまとみらい間での融合事業】

事業名	内容
屋内こども広場がやってくる	8月に市民交流拠点ポラリスにて「ポラリスサマーイベント 屋内こども広場がやってくる」を開催。普段シリウスまで足を運ぶのが難しい方や、屋内こども広場を知らない方にも知ってもらうことができ、地区館との絆もイベントを通して深めることができた。

【地域連携事業】

協力団体	内容
自治会や地域団体など	江崎グリコ株式会社から講師を招き、「かんたん・おいしい幼児食」や「季節のお悩みセミナー」など子育ての悩みを解消できる育児サポート講座を開催。講座などを通じて地域との結びつきを深め、子育て支援の観点から地域社会の活性化の貢献に努めた。

* イベント内容によってはイベント参加費用を徴収しました。

多目的運営事業（多目的室） 年間イベント回数/参加者数

事業名	回数	参加者数
親子向け講座	61 回	1,113 人
育児サポート	13 回	187 人
保護者向け講座	59 回	399 人
やまとみらい間での融合事業	9 回	285 人
地域連携事業	6 回	91 人

3) 実施体制

げんきっこ広場とちびっこ広場を管轄する屋内公園担当と、受付や経理など事務的機能を管轄する総務、保育室や育児相談などを管轄する保育・相談担当を設け、各担当が互いに協力し連携することで効率的な運営ができました。また、弊社がこれまで培ってきた保育に関するノウハウを発揮し運営し、利用者へより良いサービスを提供すること

ができました。

(5) 共通事項

① 連携事業の報告

やまとみらいが運営する全7館が連携事業を通じて「学び、感じ、創造する場」「本から広がる感動を提供する場」を創出しました。各館から選出された委員から構成される広報・事業企画検討委員会が中心となり、大和市民まつりへの参画、やまとみらいまつり、シーズンプロモーションなどの融合事業を実施しました。

また、JV企業内2社・3社での連携事業としては、講座関連本の提供や展示、地区学習センターへの出張イベントの開催など、合わせて172事業を展開しました。

1) 融合事業の実施

季節に合わせた館内装飾や、各種テーマに合わせた複数施設での連携事業を実施しました。

〈融合イベント〉

2ヶ月ごとにテーマを設けてイベントを企画し、広報誌YAMATOMIRAIでも特集を組むなど、7館が一体となって活動しました。

期間	テーマ名	()内は融合事業名
4-5月	絵本って、楽しい!	(大和市民まつり参画)
6-7月	星に願いを	(シーズンプロモーション 七夕)
8-9月	さあ、思い出の夏休み!	(テーマ融合)
10-11月	やまとみらいまつり「新しいつながり・広がるみらい」 (やまとみらいまつり)	
12-1月	心がはずむ、お正月	(テーマ融合)
12月		(冬のフリマフェスタ)
2-3月	備えて守ろう 大切なもの	(テーマ融合)

〈シーズンプロモーション〉

季節に合わせて門松、ひな人形、こいのぼり、クリスマスツリーなどを館内に飾りました。七夕にはやまとみらい全7館で笹飾りを実施。それぞれの施設に設置された笹が、飾りと来館された方々に書いていただいた短冊で彩られました。集まった色とりどりの短冊は

全館合計で1,405枚。皆様の願い事が書かれた短冊は、展示期間終了後には大和天満宮にお納めしました。

2) 「やまとみらいまつり」の実施

11月3日(日・祝)にシリウス8周年を記念した「やまとみらいまつり」を開催。絵本をコンセプトとしながら、大人も子どもも楽しめるようイベント全体を企画しました。近隣の企業や市民団体、ボランティアスタッフとも協力・連携して開催したイベントには、多くの市民が訪れ大盛況となりました。実施したイベント企画は下記のとおりです。

〈記念式典&ミニ・コンサート〉

オープニングでは、シリウス開館から 8 年間のこれまでを振り返る「シリウスのあゆみ」動画を投影。また、今年度より初めて大和市文化芸術顕彰と融合し、芥川賞受賞作家の市川沙央さん（動画出演）を始めとした令和 6 年度受賞者の紹介と表彰式を行いました。また「ズーラシアンブラス・弦うさぎ」による弦楽四重奏コンサートを実施。ファミリー層を中心とした来場者で満員御礼となり、大和市ゆかりのアーティストを知っていただく機会を創出するとともに、プロのアーティストの上質な音楽を体感いただく機会となりました。

〈しかけ絵本ワークショップ〉

しかけ絵本専門店として全国で活躍されている講師を招き、オリジナルしかけ絵本を作るワークショップを開催。子ども向けの回と大人向けの回に分け参加者を募集し、全 2 回の開催は満員御礼となりました。参加者の方々に、しかけ絵本の仕組みを知ってもらうとともに、作成する楽しみや開いたときの驚きや感動を体感してもらいました。

〈英語絵本の読み聞かせ Story Time〉

市内団体の Story Time による英語絵本の読み聞かせや、手遊び、英語絵本の展示などを実施。子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

〈小田急電鉄 相模鉄道大和駅 コラボイベント〉

令和 5 年度までの小田急電鉄に加え、令和 6 年度からは相模鉄道ともコラボレーション。駅員の制服を着て写真撮影ができる撮影会や、ロマンスカーからの展望動画視聴コーナー等を設置しました。また、駅員さんによる鉄道絵本の読み聞かせイベントも開催し、会場は親子連れ、鉄道ファンなど多くの来場者で賑わいました。

〈オリジナル缶バッジワークショップ〉

専用の台紙に描いたぬり絵をその場で缶バッジにできるワークショップで、シリウス、ポラリス、桜丘学習センター、渋谷学習センター、つきみ野学習センターで開催。多くの親子連れの方々にお楽しみいただきました。

〈大道芸人のパフォーマンスショー〉

市内で活躍する大道芸人ラッキーさんと、おかっぱみゆきさんによる大道芸やバルーンアートパフォーマンスショーを開催。家族連れを中心に、多くの来場者で賑わいました。

〈大和銀座通りの阿波踊り コラボイベント〉

大和銀座商店街協同組合とコラボレーションイベントを開催。シリウス前から銀座商店街を練り歩きました。特にシリウス前の演舞には多くの観覧者が集まり、まつりの雰囲気大いに盛り上げました。

〈店舗連携〉

シリウスが入る YAMATO 文化森内の店舗エプロントに協力いただき、11 月 3 日の当日のみパスタ 1 種をワンコイン（500 円・税抜・数量限定）で提供しました。

〈おすすめ絵本の POP 作成ワークショップ〉

絵本の POP を制作するワークショップを、中央林間図書館、つきみ野学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センターで実施。著作権に関するレクチャーを実施した上で、参加者に絵本を選定してもらい、その本の魅力を伝える言葉やイラストで POP を作成。制作した POP は絵本と共に館内で展示を実施し、多くの貸出にもつながりました。

〈未来へつなぐ玉手箱〉

市内で活動する 3 団体（大和市音楽家協会・大和シルフィード・世界の友だちプロジェクト大和の会）によるコラボレーションイベントを開催。英語と日本語による絵本の読み聞かせやミニ・コンサート、ボールを使ったレクリエーションのほか、インタビュー形式のディスカッションなど、子どもから大人まで楽しめる企画となりました。

〈各イベントの参加者数〉

イベント名	会場	参加者数
記念式典&ミニ・コンサート	シリウス 1 階メインホール	約 600 名
しかけ絵本ワークショップ	シリウス 6 階大会議室	61 名
英語絵本の読み聞かせ	シリウス 3 階マルチスペース	46 名
小田急相鉄大和駅 コラボイベント	シリウス 1 階ホワイエ	約 100 名
未来へつなぐ玉手箱	ポラリス 2 階アリーナ	66 名
オリジナル缶バッジのワークショップ	シリウス 1 階ホワイエ	357 名
	ポラリス	74 名
	桜丘学習センター	35 名
	渋谷学習センター	28 名
	つきみ野学習センター	32 名
大道芸パフォーマンス・阿波踊り	シリウス前プロムナード	約 300 名
絵本 POP ワークショップ	渋谷学習センター、ポラリス、つきみ野学習センター	計 32 名
計		1,731 名

3) 「大和市民まつり」への参画

5/11-12 の 2 日間、引地台公園で開催された大和市民まつりに、やまとみらいとして団体 PR に初出展しました。「絵本の世界にとびこもう」をテーマに、王子様や王女様の衣装を着てお城のパネルの前で記念撮影ができるフォトスポットを企画・設置。市民ボランティア（やまとみらいパートナー）も、バルーンアートの作成で参画しました。フォトスポットブースは連日盛況で行列が絶えず、2 日間で計 1,010 名の方がご来場。やまとみらい全館の PR につながりました。

② 市民ボランティア制度

令和 5 年度から本格始動した市民ボランティア制度「やまとみらいパートナー」は、「誰もが楽しく参加できる」をテーマに、令和 6 年度も「やまとみらいまつり」を含む様々な活動を実施しました。

5 月大和市民まつり、11 月やまとみらいまつりなど当日の活動と、事前勉強会や実施後

の振り返りを通し、参加者同士の結びつきがより一層強まるようサポートしました。また、8月には「やまとみらいパートナー」初の自主企画「み～んなの縁日」を開催。バルーンアートのワークショップ、釣りコーナーなどを実施し、延べ来場者数 270 人と大盛況のうちに終了しました。

これからも「やまとみらいパートナー」自らが発案し、主体的に活躍できる環境を築いていくことを目指します。

③ 情報発信に関する取組

令和 6 年度は、ポータルサイト内に新設した「イベントレポート」ページの広報に注力しました。令和 5 年度に引き続き、二次元コードを裏面に記載した「七人の小人」のしおりを全館に設置し、各種イベントでも配布を行いました。また、「大和市民まつり」では出店テントにて PR チラシを配布し、「神奈川大和阿波おどり」では協賛広告として制作したうちの裏面に二次元コードを掲載しました。さらに、地域密着型の情報サイトにもバナー広告を出稿するなど、市民の目に触れやすい場所で積極的にポータルサイトの PR を行いました。

これらの取組により、令和 5 年度のサイトリニューアル時と比較して、約 1.2 倍のアクセス数を記録することができました。

1) 情報発信の展開

ア)「YAMATOMIRAI イベント情報サイト」

〈やまとみらいポータルサイト〉

令和 6 年 8 月より、「イベントレポートページ」の機能を新設しました。従来のイベント告知に加え、イベント終了後の様子や参加者の声、スタッフの裏話等を「終了報告」として掲載しました。これにより、全館・各館で実施されたイベントの内容をより具体的かつ臨場感をもって伝えることが可能となり、やまとみらい 7 館の活動を立体的に発信する手段として、広報・PR の強化につながりました。

イ) 広報誌「YAMATOMIRAI」

7 館合同広報誌として年 6 回発行し、全館の活動やイベントを広く PR しました。

全館融合イベントとして、4・5 月号では、絵本をテーマにした特集を組み、大和市民まつりで実施するフォトブース「絵本の世界にとびこもう」の記事を掲載。やまとみらいと地域とのつながりをアピールしました。2・3 月号では、防災意識が高まる時期に合わせ防災特集を、6・7 月号では七夕など季節にちなんだ特集を掲載。10・11 月号では、毎年恒例の「やまとみらいまつり」の様子を紹介するなど、年間を通して全館の取組を効果的に発信しました。

ウ) 館内広報誌「あおぼし」

やまとみらい全館のスタッフの活動報告やスタッフ紹介、各館のクレド浸透活動紹介、地域情報などを報告する館内広報誌「あおぼし」を年 4 回発行しました。

「お互いの仕事、自分の働いている場所を知る」ことにより、やまとみらいの拠点同士、スタッフ同士のコミュニケーション円滑化やモチベーションアップにつなげ、チームワークの醸成やサービス品質の向上を図りました。

エ) 地域密着型メディアとの連携

FM やまと、HIT、ハイタッチタウン、マグカルカレンダーなど、地域密着型の媒体に定期的に情報を提供し、イベント情報を広く発信しました。Facebook、Instagram などの SNS を継続的に更新し、イベントの裏側やスタッフの活動など、施設の魅力を日常的に発信しました。また、新たに運用開始した「YAMATOMIRAI イベント情報サイト」のイベントレポートページでは、イベント当日の様子や参加者の声をレポートとして発信し、やまとみらいの活動をアピールしました。全館のニュースはプレスリリースとして作成・配信し、県外や全国に向けても広く情報を発信しました。

これらの広報活動を通じて、やまとみらいの認知拡大と地域・外部とのつながり強化を図りました。

オ) 視察対応

自治体、企業からの視察や、新聞・雑誌・テレビといった媒体各社からの取材を積極的に受けるとともに、シリウスへの注目度の高さを生かし、やまとみらい 7 館の PR につなげました。令和 6 年度の視察件数は 82 件でした。

④ 利用者の誘致・拡大に関する取組

引き続き市民ニーズに沿ったイベントを企画・誘致し、施設のファンを増やすための活動を展開しました。

1) 館内ツアーの開催

利用者が普段立ち入ることのできない、シリウスの裏側をご案内する「館内ツアー」を継続して実施。参加者にシリウスの多様な表情をご覧くださいことで、施設の PR につなげシリウスファン層の拡大に努めました。8/3「シリウス夜の探検ツアー」では図書館の 16mm フィルム上映などを 3 歳～小学生の親子を対象に実施。92 組の応募から抽選で 5 組 15 名参加（当日キャンセル 7 名）。3/7「シリウス大人のための館内ツアー」は小学生以上を対象とし、午前中の晴れ渡った屋上などをご案内しました。20-80 代の幅広い年代の方 20 名が参加。応募方法や内容などに都度工夫を凝らし、参加者の満足度向上を図りました。

2) より多くの方に情報を届ける施策

広報誌「YAMATOMIRAI」および、「YAMATOMIRAI イベント情報サイト」で情報周知を行いながら、地域の団体やメディアと連携し、情報を届けたい年齢層、ターゲットに合わせた広報・広告を実施しました。

⑤ 要望・苦情への対応

やまとみらいが運営する7館すべてにご意見箱を設置しています。ご意見箱にいただいたご意見は、その都度、大和市の担当者と全施設の館長・所長で共有を行うとともに、月に一度開催されます「文化創造拠点等連絡調整会議」において情報交換を行いました。

また、引き続きご意見箱やモニタリングアンケート自由記述欄で寄せられたご意見について、該当の施設で回答を作成しホームページで公開をしました。公開することにより、やまとみらいとしての責任の所在を明確にするとともに、直ぐにできることと時間が掛かることの整理を行い、着実に対応を進めました。

【令和6年度 ご意見への対応例】

シリウスでは、昼食時に親子連れで3階から6階への移動する際にエレベーターになかなか乗れず不便、やっと6階についても席がないというご意見が複数寄せられました。そこで、令和6年5月に3階屋外テラスにベンチを設置し、飲食可能なスペースとして開放しました。さらに令和7年4月にはテーブルも設置し、多くの方にご利用いただいています。

ほかにもメインホールやサブホールの案内板を設置（シリウス）、PC優先席の増設（渋谷図書館）、妊婦や抱っこ紐を使用した方の利用が多い育児雑誌を手に取りやすい上段に移動、文庫本についても2列で並べていたものを1列に変更しさらに下段の本が取りやすいよう小さな椅子を設置（桜丘学習センター図書室）するなど、ご意見を受けて改善してまいりました。

3. 施設の維持管理に関すること

(対象施設：全構成施設)

(1) 基本的な考え方

① 基本方針

- 安全・安心を支え、快適を提供します。
- 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します。

やまとみらいの基本方針 人・地域・文化を育む



施設の維持管理 基本方針

来館する市民一人ひとりの「居場所」を
安全と安心で支え、快適を提供します

多くの方々をリピーターとしてお迎えし、また、新たな方々に利用していただくためには、安全と安心を支え続け、快適を提供し続けることが極めて重要だと私たちは認識しています。施設の維持管理における基本方針は、維持管理を担う構成企業が安全安心を支え続ける、快適を提供し続ける、つまり持続的に継続し続けることが最も大切であると受け止めた上で、私たち「やまとみらい」の基本方針「人・地域・文化を育む」を反映させた「安全・安心・安定的な管理運営」を具体的に実現していくための基本方針としました。

行動指針

1. 市民一人ひとりの居場所の「安全と安心」を支えます
 - (1) 防災・防犯機器の予防保全による保守管理を行います
 - (2) 全7館横断の安全向上委員会の活動を継続していきます
2. 市民一人ひとりの居場所に「快適」を提供します
 - (1) 清掃業務の自主モニタリングにより品質の向上を図ります
 - (2) 予防保全で空調機器などを保守管理し安定稼働を提供します
 - (3) 正面入口での立哨警備で不審者の侵入を予防し、巡回警備で抑止力を発揮します
3. 施設・設備の長寿命化とコスト軽減を両立します

② 文化創造拠点等全7館横断の「安全向上委員会」の活動

- 安全向上委員会は、全7館から構成され、事務局はシリウスの防災センターが務め、毎月開催しました。
- 「安全安心を阻害する要因の把握⇒リスク要因への予防措置の策定⇒予防措置の実施⇒効果の検証」にのっとり、事故、トラブルが発生した際には、事案への対応を迅速に行うとともに、原因を分析し、再発防止策の検討及び措置を実施しました。
- 委員会の活動を背景に防災センター職員全員が「防犯防災」の腕章を装着し、見える化

を意識して施設内を巡回し、抑止力も発揮しています。「施設の利用が不適当とみられる人物（図書館条例）」を見かけたら積極的に声をかけ、館長もしくは職員と連携し迷惑行為への早期対処に努めました。



- ◎JV 全体でリスクや危険要因等を把握
- ◎JV 全体で情報共有◎事故の予防・再発防止策検討◎措置の実施
- ◎整理・整頓・清掃・清潔の 4 つの S の推進

③ 電子カルテ化

- 私たちは、コストの削減と機器の長寿命化を目指し、設備機器についての電子カルテを作成し管理しました。
- 電子カルテは機器の現状、点検履歴、故障履歴、補修履歴等をデータとして記録していくことにより、過剰な精密検査や補修を避け、機器の状態にのっとった管理を行うことができました。管理コストの平準化を通じてコスト軽減に努めました。

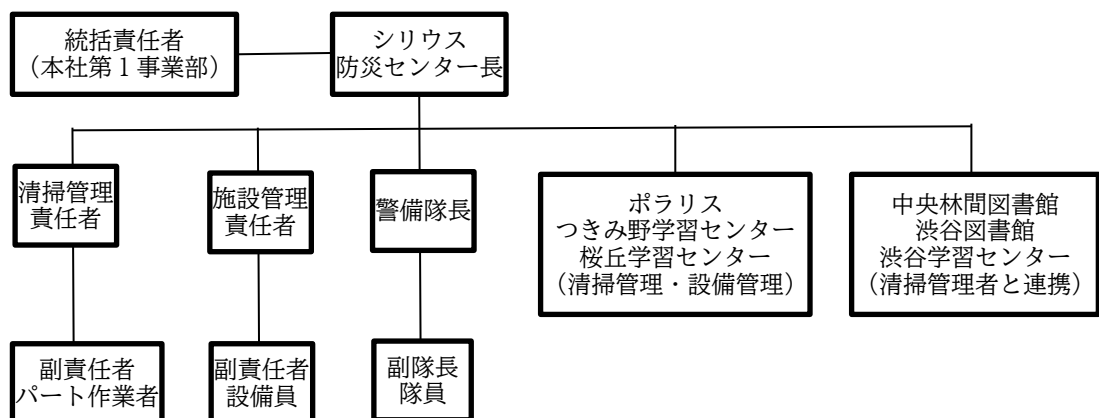
④ 修繕計画

- 令和 6 年度は開館から 8 年を迎え、建物の維持管理のため、修繕計画のベースとして建物診断実施の可否について検討しました。

(2) 実施体制及び人員体制

- シリウス防災センターを軸に全 7 館を一元管理しました。
- 警察署・消防署と連携しながら、安全安心な施設運営を実践しました。

① 実施体制



横浜ビルシステム本社の第 1 事業部（顧客業務グループ）が統括責任者となり、シリウス防災センターを軸に全 7 施設の維持管理業務を運営しバックアップする責任体制としました。第 1 事業部が、大和市と指定管理者代表企業構成企業等との渉外窓口並びに、防災センター業務全般と清掃管理、警備管理、設備管理業務を担当しました。

また、第 1 事業部は、全 7 施設に係るコンプライアンス遵守、安全管理、教育研修の企画・実行、物的人的資源の調達と配置など組織品質の維持と向上に係る指導とサポートにあたりました。

私たちは特に、極めて多くの市民がシリウスへ来館している実態を踏まえて、警察署や消防署と連携して、安全と安心を支えるための心構えや実践を継続的に学ぶことに注力してきました。

また、各施設の設備関係点検はシリウス所属もしくは本社サポート所属の設備員が出向き、全体の状況をシリウス防災センターで一元管理し、設備管理の作業品質の向上に努めました。

② 高品質清掃研修の実施

清掃品質の維持向上と他施設への横展開のため、各施設に新たに配属する清掃員は必ずシリウスでの高品質清掃現場研修を経て各館に配属しました。

（３）安全・安心の拠点に関すること

① 防災センターの位置づけ

○防災センター所長は、清掃・設備・警備・駐車場・駐輪場の各業務を統括するとともに、指定管理者「やまとみらい」に横断的に組織される安全向上委員会の事務局を務め、文化創造拠点シリウス全域の安全の向上に向けて活動しました。

○あわせて、文化創造拠点等の全 7 館の維持管理を一元的に管轄するセンターとして機能しました。

○防災センターの業務を遂行するため、防災センター長(8:00～17:00)及び警備員(8:00～翌 8:00 宿泊)、設備員(7:30～22:00)を配置しました。

② 個別業務

○防災センターにて火災等の監視と消防設備等の制御、非常放送、監視カメラでのモニター・記録、非常ベル発報の受信等を行い、常時最低 1 名が常駐して、緊急時に備えました。

○防災センターは設備機器の中央監視室として空調機器等の主要設備の監視と遠隔操作を行い館内の快適さの維持に努めました。

○防災センター所属のセンター長、警備員、設備員は、防災防犯の腕章を装着するとともに、抑止力を発揮すべく「迷惑行為などが発生していないか」などを意識しながら施設内の特に来館者が多くいるエリアを巡回しました。

○大和市図書館条例等に示されている「施設の利用が不適當と認められる人物」を見かけたら、館長や職員と連携して積極的に声掛けを実施し、迷惑行為などに早期に対応しました。

○館長や職員から出動要請がある場合は、警備員だけでなくセンター長、設備員も含めて「オール防災センター」で機動的に迅速に対応しました。

③ 緊急時の対応

○防災センターは、常時最低1名以上が災害や事故に備えて常駐しました。

○防災センター要員は、防犯のために館内を巡回し、防災・防犯のための機器を点検して回り、建物内で起きる緊急事態に直ちに対応できるよう備えました。

○防災センターは万一の場合は、消防や警察など公的機関の指揮所にもなりますので、日頃からセンター内にある各種機器も予防保全の観点で保守管理を行いました。

④ 設備業務内容

○設備機器、施設を熟知し「安全・安心を支える」ために、定期的に適切な点検を行い、その内容を記録しました。

○「快適を提供する」ために適切な点検と運転で諸々の機器を安定稼働させ、電子カルテを通じ、予防保全を進めコスト軽減と機器の長寿命化の実現に努めました。

○防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応できるよう検証を重ねました。

○シリウス防災センター所属の設備技術者がポラリスなど各施設の点検に出向き、全体の状況を一元管理しました。

機器の安全管理について

安全に直結する機器の管理には特に細心の注意を払います。例えば非常用発電機は、火災や地震等の災害時に万一電力供給が絶たれた際、自動的に起動し、非常灯を点灯させ、スプリンクラーなど消防機器を動かし、来館者の避難や初期消火を可能とするもので、極めて重要な機器です。

非常用発電機は年に1度精密な点検を行います。また、起動テストは月に1度行います。機械が動くことをただ確認するのではなく、何のために動かねばならないのかを意識し、注意深く管理してまいります。

※計画どおり、年1回の点検と月1回の起動テストを実施しました。

⑤ 警備配置人員

○責任者は、警備員指導教育責任者、施設警備業検定等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。

○副隊長以下も責任者に準ずる職員を配置しました。

⑥ 警備業務内容

- 多数の来館者の安全安心のためのエントランスでの立哨警備、不審者抑止と迅速対応のための館内の巡回警備、そして防災センターでの緊急事態への備えとして監視警備に常時従事しました。
- 防災センター要員として施設全体の構造、動線、組織を熟知し、有事の際は適切に対応できるようにしました。
- ポラリスなど各施設は機械警備で安全を確保しました。有事の際はシリウス防災センターが関係部署と連携して対処できるよう調整しました。

⑦ 清掃配置人員

- 責任者は、清掃指導監督責任者、ビルクリーニング技能士等の公的資格を有し、類似施設での業務経験を有する能力・資質の高い職員を配置しました。
- 副責任者以下も責任者に準ずる職員を配置しました。
- ポラリス、つきみ野学習センター、桜丘学習センターに配属する職員は、高い清掃作業品質を維持しているシリウスでの現場実習を経てから正式に配属しました。

⑧ 清掃業務内容

- 清掃員は、7:00～22:00の間、シリウスに常駐し営業時間帯をカバーしました。
- 施設を熟知し「快適を提供する」ために、利用者の視点で適切な清掃を履行しました。
- 施設の美観と清潔度のシンボルである「トイレ」清掃には細心の注意を払いました。利用者からも大変高い評価をいただいております。
- 緊急の清掃要請には迅速丁寧に対応しました。そのためシリウスでは営業時間をカバーする時間帯で配置しました。
- 地区館については、つきみ野学習センター 7:00～11:00 12:30～14:30
桜丘学習センター 7:30～10:30 ポラリス 7:00～10:00 13:00～16:00の間、清掃員を配置しました。緊急時にはシリウス設備担当者に対応できるようにしました。

⑨ 駐輪場配置人員

- シリウスには駐輪場が位置する地下1階から地上に向かう通路に自転車搬送コンベアがあることもあり、安全管理の観点から利用頻度の高い14:00～17:00に毎日配置し、安全管理を徹底しました。

⑩ 駐輪場業務内容

- 自転車、小型バイク入庫時にスロープの安全確認を行い、出庫時の搬送コンベアで事故が起きないように安全補助作業をしました。
- 混雑時に地下1階にある駐輪場内、出入りゲートで事故が起きないように場内誘導作業を

○初めての利用者や利用料減免対象の利用者に対し、利用方法などを丁寧に説明しました。

○これまでの経験を生かし、警備ではシリウス正面玄関での立哨警備、清掃では夕方の巡回清掃の人員を増やし、更なる安全安心、快適な環境を提供しました。

具体的な人員配置イメージは以下のとおりです。

90

(4) 安全管理及び緊急時の対応に関すること

① 安全マニュアルを更新しました

○いままでの経験を生かし利用者の安全と安心を支える観点から、改めてリスク要因を洗い出し、予期しなかったリスクも織り込み、「事故・トラブルの未然防止」の観点から安全マニュアルを発展的に見直しました。

建物内外の動線・床面・立面・諸設備等を「危険ではないだろうか?」という視点で、改めてリスク対応を行う PDCA のプロセスを継続しました。

○安全対策にはユニバーサルデザインの考え方を重視します。当施設は、初めて来館する方、子どもや年配の方、障がいのある方など様々な方が利用します。私たちは、それぞれの方の視点、動きから施設内での危険要因を把握し、移動の安全性を確保し、また、掲示物の分かりやすさにも工夫をこらすなど安全対策を講じました。

○新型コロナウイルス対応の経験を生かし引き続き感染症予防対策を実施してまいりました。

② 安全向上委員会の活動を継続しました

○構成企業各社が参加する安全向上委員会を毎月開催しました。各社の経験に加え、他施設の情報や事例も加えて、事故等の未然防止に努めてきました。

○万一、災害や事故やトラブルが発生した際には、訓練で得た知識を生かし事案への対処を直ちに行うとともに、原因の分析、再発防止策の検討、再発防止措置を講ずるための拠点となるよう努めました。

○また、整理・整頓・清掃・清潔の 4 つの S の施設での推進役となり、各施設の職員の意識向上に努めました。

4. 管理に係る経費に関すること

(1) 経費縮減の取組

① 省エネルギー及び事務経費等省コスト化の推進

光熱費高騰のため、さらなる省エネルギーの推進意識を持ち、気候に即した照明や空調の調整、消し忘れ防止等に努め、省エネルギー化を推進しました。事務作業では、ペーパーレス化を推進し、印刷費用や通信費を縮減しました。小さな積み重ねを職員全員で取り組むことで大きな成果につなげるよう取り組んできました。

具体的な取組は以下のとおりです。

照明	空調	事務室環境	紙資源
点灯時間の短縮	温度・運転時間の調整	待機電力の削減	消費量削減
・未利用空間、自動化されていないトイレの頻繁な消灯 ・開館前後の節約消灯 ・必要スペースのみの点灯 ・照明器具、管球清掃	・事務室の冷暖房節約 ・定期的な換気(感染症対策) ・冷暖房温度の適切な運用 ・未利用空間の冷暖房の停止	・業務用パソコン未使用時のモニター画面消灯 ・コピー機の省エネモード導入 ・モニター照度の節約設定	・Webツールを用いた情報共有 ・Webシステム上での勤怠管理推進 ・共同事業体会議等のペーパーレス化

(2) 収支決算書

別紙のとおり。

【業務実施状況に関する補足説明】

特になし。

2. 収支決算概要

(円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に 払った金額)	1,072,008,739	人件費 (指定管理者が雇用し た職員の給料、諸手当、 福利厚生等の金額)	958,795,455
利用料金収入 (条例に基づき、利 用者が指定管理者に 支払った利用料金)	132,386,133	事業費 (指定管理者が各種事 業を行っていく上で支 出した金額)	144,297,706
事業収入 (事業により得られ た収入)	56,407,234	事務費 (事務手続に支出した 金額)	77,431,378
協賛金・補助金等収 入(助成金等)	5,378,025	維持管理費 (施設の清掃や、保守 点検に支出した金額)	85,952,339
その他収入 (駐車場利用料等)	29,219,335	修繕費 (施設や物品の修繕に 支出した金額)	10,786,599
		その他支出	18,277,909
収入計(①)	1,295,399,466	支出計(②)	1,295,541,386
収支決算(①－②)		▲141,920	

【収支決算に関する補足説明】

1 収入について

・利用料金収入

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小していた一部イベントの再開等に伴い、令和5年度と比較して約11,684,000円(10%)増加しました。

・事業収入

学習センター有料講座実施及びホール券売好調の影響により、令和5年度と比較して約16,191,000円(40%)増加しました。

2 支出について

- ・ 人件費

令和5年度まで施設維持管理に計上していた一部の経費について、施設維持管理費から人件費に計上先を見直したことに伴い、令和5年度と比較して約168,665,000円（21%）増加しました。

- ・ 事業費

地区学習センター自主事業増加のため、令和5年度と比較して約13,300,000円（10%）増加しました。

- ・ 事務費

利用の手引き及び利用登録申請書の印刷、備品故障による代替品購入及び修繕等の増加ため、令和5年度と比較して約11,732,000円（18%）増加しました。

- ・ 施設維持管理費

令和5年度まで施設維持管理に計上していた一部の経費について、施設維持管理費から人件費に計上先を見直したことに伴い、令和5年度と比較して約168,106,000円（66%）減少しました。

- ・ 修繕費

経年劣化による設備の修理や交換等の増加のため、令和5年度と比較して約1,150,000円（12%）増加しました。

3. 管理運営に対する評価など

指定管理者の管理運営に対する評価は、次のとおりです。

なお、評価に当たっては、指定管理者選定時の審査項目をもとに行い、令和7年9月24日に大和市文化創造拠点等運営審議会からの意見聴取を行いました。

<評価の視点1～4に基づく評価結果>

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか

当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。

【利用者サービスに関すること】

<ホール関連サービス>

- ・利用者の利便性向上と円滑な利用促進を図る取組を行うことにより、施設稼働率と利用者満足度の双方で高い成果を維持している点を高く評価した。
- ・特別養護老人ホームへ出張コンサートを開催するなどの活発なアウトリーチ、またバリアフリーコンサートでの新たな鑑賞サポート導入による合理的配慮を実施したほか、音を色や振動に変換するデバイスを導入する等、ソフト面とハード面の双方で物理的な障壁の解消に取り組んでおり、誰もが利用しやすい環境の実現に向けて着実な成果を上げている点を高く評価した。

<図書館関連サービス>

- ・事業計画に基づき、民間のノウハウを生かした施設運営に努めている。直接的な利用者満足度の向上につながるものではないが、シリウス1階総合案内でのリモート接客実証実験を実施するなど、業務の効率化や改善に取り組んだことは評価できる。
- ・小学生向けの認知症講座「認知症世界の歩き方 for キッズ」を開催するほか、配慮が必要な子どもたちに読書の喜びを体験してもらう場所として「りんごの棚」の継続設置、日本語を母語としないかたの施設見学受入れなど、様々な利用者が利用しやすい環境づくりを積極的に行っている点を高く評価する。

<学習センター関連サービス>

- ・講座の開催に当たっては、会場以外でも受講できるようオンライン講座や会場とオンラインを併用した講座を実施したことに加え、やまとみらいカレッジにおいては、会場となった学習センター以外でのサテライト会場を設置するなどの体制を整えており、サテライト会場で多くの受講者が参加したことは高く評価できる。

<屋内こども広場関連サービス>

- ・サプライズイベントの開催について、「利用者主体（＝当日の利用者からの要望によってイベント内容を決める）」に変更したことや、げんきっこ広場

に3歳未満児が入場できるトライアルを定期的を開催する等、利用者増につながる取組を実践したことについて高く評価する。

＜共通事項＞

- ・事業計画に則り、ご意見箱の設置、情報共有、回答内容の公開が着実に実施されている。令和6年度の具体的な事例としては、シリウス3階フロアを利用する子ども連れのかたからの「昼食時に3階から食事ができる階に移動する際、エレベータになかなか乗れず不便だ」という複数のご意見に対する改善策として、3階屋外テラスにベンチを設置し、飲食可能なスペースとして開放するなど、課題解決や利用者の満足度向上につながる取組等をしたことは高く評価できる。

評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか

当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。

【利用者サービスに関すること】

＜ホール関連サービス＞

- ・指定管理者の高い専門性や幅広いネットワークを生かした企画を展開している。その結果、有料公演の高いチケット販売率に加え、友の会の会員数を前年度比で約20%増加させるなどの成果を挙げている点を高く評価した。

＜図書館関連サービス＞

- ・基本方針については、事業計画書に掲げる基本方針に則り事業を実施しており、概ね計画書どおりの水準と評価する。
- ・企業や自治会等との連携事業に加え、新たに高座渋谷駅前でのイベントに参加するなど、地域と連携した事業を積極的に展開している。また、シリウス図書委員会Blue Starsを立ち上げ、中高生と一緒にティーンズ世代の読書推進やイベント参加促進を行うなど、市民参加や交流につながる事業に注力したことは高く評価できる。
- ・全国で多くの図書館運営を受託している実績や情報を活用するとともに、各部門で連携・協力して業務に当たっており、事業計画に則った実施体制を整えていることは評価できる。

＜学習センター関連サービス＞

- ・渋谷学習センターで令和6年度から実施している日本語を母国語としない方々に向けた日本語教室等については、地域課題解決に取り組む良い事業であり、今後の展開に期待する。

＜共通事項＞

- ・「やまとみらいまつり」での新たな試みとして「大和市文化芸術顕彰」と融合した形式で実施したほか、「大和市民まつり」に団体PRブースとして初出展するなど、積極的な連携事業の展開を図っている。また、市民ボランティア制度「やまとみらいパートナー」では、初の自主企画を開催するなど、市民が主体的に活躍できる環境を整えていることは高く評価できる。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか

当該項目については、事業計画書どおりの水準で業務が行われていることが確認できた。

【施設の維持管理に関すること】

- ・文化創造拠点シリウスの清掃品質については、施設の居心地の良さや利用者満足度につながる重要な項目であり、継続して利用者から高い評価を得ている点を評価する。他の施設についても同様に評価を得られるよう期待する。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

当該項目については、事業計画書どおり又はそれを上回る水準で業務が行われていることが確認できた。

【組織運営に関すること】

- ・「共通研修」について、計画どおり「受入研修」「ステップアップ研修」等を実施し、体系的な研修制度のもとサービス品質の向上を図ったことに加え、大規模地震を想定した図上訓練、不当行為等対応研修を新たに実施したほか、不審者対応訓練研修など、研修内容を工夫し、課題に即したものを積極的に展開したことは高く評価できる。

【経費に関すること】

- ・光熱費の高騰が継続している中、省エネルギー化に地道に取り組んでいることは評価できる。収入の増加に向けて更なる工夫を期待する。